

2024

消防年報



佐久広域連合消防本部



構成市町村統計

令和6年4月1日現在

市 町 村	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
合 計	201,999	86,223	1,571.18
小 諸 市	40,343	17,344	98.55
佐 久 市	96,841	41,074	423.51
南 佐 久 穂 町	9,734	3,927	※188.15
小 海 町	4,108	1,832	※114.20
川 上 村	3,905	1,059	209.61
南 牧 村	3,108	1,057	133.09
南 相 木 村	903	397	66.05
北 相 木 村	676	301	56.32
北 佐 久 郡 軽 井 沢 町	19,830	9,234	156.03
御 代 田 町	16,330	7,418	58.79
立 科 町	6,221	2,580	66.87

【詳細P12・P13】

消防本部 1 職 員 数
消 防 署 7 条例定数 251人
分 遣 所 1 総実員数 243人

【詳細P14】



消防当初予算
24億5,700万円

【詳細P24・P25】



119番通報(件)

令和5年中

合 計	19,390
火 災	249
救 急	13,124
救 助	138
警 戒	268
そ の 他	83
災害以外	5,528

【詳細P48】



火災件数・出火原因(件) 令和5年中

合 計	148	1 位	火入れ	31
建 物	55	2 位	たき火	28
林 野	5	3 位	取 灰	5
車 両	15	3 位	たばこ	5
その他	73	3 位	内燃機器	5

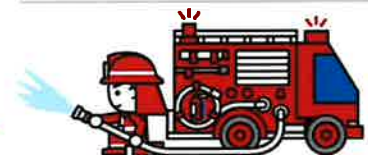
【詳細P33～P34】

消防車両台数・・・65台

令和6年4月1日現在

水槽付ポンプ車・・・8台
ポンプ車・・・4台
ポンプ付救助工作車・・・1台
化学車・・・1台
水槽車・・・4台
はしご車・・・1台
工作車(救助・林野)・・・3台
高規格救急車・・・16台
指令車・指揮車・・・9台
防火広報車・・・9台
資器材積載車・・・2台
その他・・・7台

【詳細P37～P39】



救急件数(件)搬送人員(人)・救助件数(件)人員(人)

令和5年中

合 計	12,788	12,028
急 病	8,305	7,767
一般負傷	2,066	1,952
交通事故	597	605
上記以外	1,820	1,704

* 平均約41分に1回出動

* 管内人口約17人に1人搬送

【詳細P43・P36】



防火対象物(件)・危険物施設(件)

令和6年4月1日現在

合 計	9,921	合 計	1,307
特定防火対象物	4,437	製造所	2
非特定防火対象物	5,484	貯蔵所	950
		取扱所	355

【詳細P26・P30】

消 防 年 報

2024



消 防 章

消防章は、消防の象徴であって、次の意味を有する。

- 1 雪の結晶は、水・団結および純潔の意味をもち職員の性状を表わす。
- 2 水管、管鎗および水柱は、消防の究極の目的である火災にとどめをさす武器であって、消防の任務を完遂する機械と水を表わす。
- 3 日章は、消防のあり方を表わす。すなわち日輪は火であるとともに万物を保護し、育成する太陽であるところから、消防もその対象は火であり、また、住民の太陽であることを意味する。



連 合 章

『連合章』

令和2年度、佐久広域連合発足20周年を迎えるにあたり、連合章を更新する。

- 1 佐久地域の青い空、豊かな大地、広がる緑、清らかな川・水は佐久地域の宝であり、自然豊かな佐久地域11の市町村が協調して発展していくことを表わす。
- 2 上部には佐久広域連合の豊かな自然の象徴である八ヶ岳、浅間山を表し、山は広域連合の11のブロックで構成され、文字の下は清らかな千曲川をイメージし、佐久のイニシャルSを表わす。

は じ め に

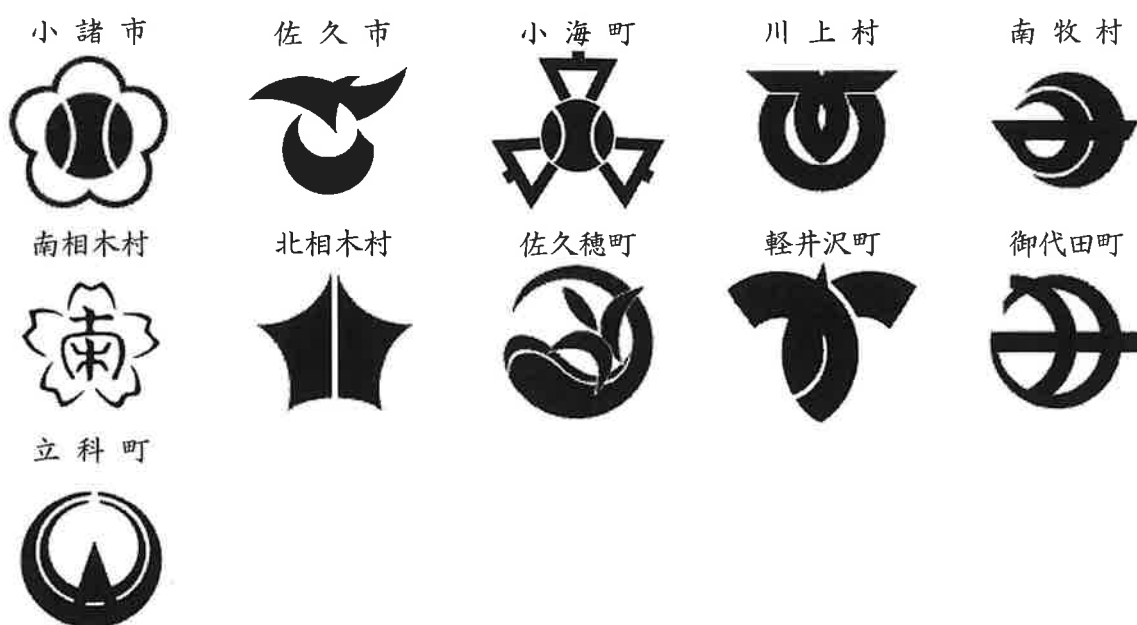
この年報は、佐久広域連合の消防現勢と消防業務に関する諸資料を集録し、今後の消防行政の参考資料とするとともに、消防事情を紹介するために編さんしたものです。

この消防年報によって、当消防本部に対するご理解を深めていただければ幸いです。

令和6年8月

佐久広域連合消防本部

構成市町村章



■ 総務編

概 要

消防の沿革	1
消防相互応援協定等締結の状況	9
主な災害記録	10
佐久広域圏の位置及び地勢	12
面積・人口・世帯数	13
消防本部・署組織機構	14
消防機関所在地・庁舎の状況	15
事務分掌（消防本部及び署所）	16

人 事

年齢・階級別職員数	19
職員配置状況	20
職員数の状況	21
職員特殊技術資格取得状況	22
職員教育・研修状況	23

財 政

消防予算の概要	24
1 佐久広域消防特別会計	24
2 消防予算と人口・世帯数との比較	24
消防特別会計市町村分担金	25

■ 予防編

防火対象物

市町村別防火対象物の概要	26
中・高層建築物の棟数	27
建築同意件数及び立入検査状況	28
各種届出状況	29
甲種防火管理資格取得受講状況	29
甲種防火管理者再講習受講状況	29

危険物施設

消防署別危険物施設数	30
許可・完成検査等の状況	30
消防署別火薬類許可数	31
危険物安全週間推進標語	31

火災統計

管轄区域別火災発生状況	32
月別火災発生状況	33
原因別火災発生状況	34
時間別火災発生状況	34
曜日別火災発生状況	34
全国統一防火標語	35

■ 警防編

救助活動

救助出動の概要	36
消防署別救助出動状況	37
消防車両等の現有状況	37
消防車両等の配置状況	38
公設水利状況（市町村別）	40
管轄区域別指揮隊出動状況	41
月別指揮隊出動件数	42

■ 救急編

救急活動

救急出動の概要	43
消防署別救急出動件数	43
市町村別救急出動件数	44
月別救急出動件数	44
時間別救急出動状況	45
曜日別救急出動状況	45
現場到着所要時間別状況	45
医療機関までの所要時間別状況	45
救急隊員の応急処置実施状況	46
傷病程度別搬送人員状況	46
医療機関別搬送人員状況	46
ドクターヘリ・ドクターカー出動状況	47
応急手当普及啓発活動の状況	47

■ 通信編

消防無線配置状況	48
119番受信状況	48
災害案内ダイヤル受信状況	48
消防無線系統図	49

■ 消防団

消防団の組織	50
消防協会の主な活動記録	51

■ 協力団体

佐久危険物安全協会	52
佐久広域防火管理者協会	53
佐久広域幼少年クラブ	54

*表記について

- ・令和5年中:令和5年1月1日から令和5年12月31日までを指します。
- ・令和5年度:令和5年4月1日から令和6年3月31日までを指します。

《 令和 5 年度 更新車両 》

『軽井沢消防署 指令車』



『川西消防署 防火広報車』

『南部消防署 高規格救急車』



総務編

概要

佐久広域連合消防の沿革

昭和46年	10月	広域圏計画に基づき、組合消防本部の発足に伴い、既設の小諸市消防本部、佐久市消防本部、軽井沢町消防本部を統合するとともに、政令指定に基づき常備消防体制のない南佐久北部地域に北部消防署、北佐久川西地域に川西消防署の2署を設置し、佐久地域広域行政事務組合消防本部発足。 (1本部6署、186名体制) 初代消防長に佐久市長 依田勇雄氏就任。
	10月	新設2署業務開始、体制は北部消防署新庁舎で職員数22名。(水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台)、川西消防署仮庁舎で職員数23名。(水槽付消防ポンプ自動車1台、無線及び指令台を設置。)
	12月	川西消防署へ消防ポンプ自動車を配備。
昭和47年	1月	川西消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	3月	佐久消防署、佐久北消防署の消防ポンプ自動車を更新。
	4月	佐久北消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	5月	軽井沢消防署の救急自動車(2B)を更新。
	6月	御代田町に御代田分署を設置し、職員10名、消防ポンプ自動車1台で業務開始。
	9月	軽井沢消防署へ小型動力ポンプ付き水槽車(10,000ℓ)を配備。
	9月	北部消防署へ消防ポンプ自動車を配備。
昭和48年	12月	川西消防署へ消防ポンプ自動車を配備。
	2月	北部消防署に救助隊が発足。
	4月	機構改革により佐久消防署と佐久北消防署を統合し、佐久市内1署(佐久消防署)体制となる。
	5月	御代田分署へ連絡車を配備。
	9月	機構改革により小海町に南佐久南部地区5か町村を管轄する南部消防署を設置し、仮庁舎で業務開始する。職員22名、消防ポンプ自動車1台、救急自動車(2B)1台、指令車1台配備。(1本部6署、212名体制)
	11月	小諸消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	11月	川西消防署へ林野火災工作車(ユニモグ)を配備。
	11月	佐久消防署へ広報車を配備。
	12月	機構改革により川上村に南部消防署川上分遣所を設置し、業務開始。 (職員は南部消防署と兼務。)救急自動車(2B)1台配備。
	2月	南部消防署庁舎新築移転し、業務開始。
昭和49年	3月	南部消防署に消防無線基地局、固定局、指令台を設置。
	4月	南部消防署へ救急自動車(2B)を配備。(寄贈)
	7月	軽井沢消防署へ救急分駐所を設置。
	7月	軽井沢消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	12月	小諸消防署庁舎新築移転し、業務開始。
昭和50年	4月	御代田分署1名増員(16名体制)、救急自動車(2B)を配備。
	5月	軽井沢消防署へ小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を配備。
	6月	南部消防署へ林野火災工作車を配備。
昭和51年	1月	小諸消防署へ水槽付消防ポンプ自動車を配備。
	2月	川西消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	3月	北部消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	4月	佐久消防署へ無線指令装置を設置。
昭和51年	9月	佐久消防署の救急自動車(2B)を更新。
昭和52年	1月	小諸消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	3月	北部消防署へ救助工作車を配備。
	4月	軽井沢消防署2名増員。(37名体制)
	5月	南部消防署へ広報車を配備。
	6月	川西消防署へ査察広報車を配備。
	10月	南部消防署へ水槽付消防ポンプ自動車を配備。
	10月	御代田分署へ水槽付消防ポンプ自動車を配備。
	10月	小諸消防署に救助隊を編成。
	11月	佐久消防署へ化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を配備。
	12月	北部消防署の訓練塔施設完成。
昭和53年	2月	軽井沢消防署の救急自動車(2B)を更新。
	5月	北部消防署へ査察車を配備。

	10月	南部消防署川上分遣所へ積載車を配備。
	11月	小諸消防署へ水槽付消防ポンプ自動車を配備。
昭和54年	2月	北部消防署庁舎増築工事完成。
	3月	佐久消防署の消防ポンプ自動車を救助工作車に改造。
	3月	南部消防署川上分遣所へ指令車を配備、並びに救急自動車(2B)を更新。
	3月	川西消防署の指令車を更新。
	11月	川西消防署へ小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を配備。
昭和55年	3月	小諸消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	6月	佐久消防署へ広報車を配備。
昭和56年	4月	川西消防署の救急自動車(2B)を更新。
	4月	南部消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	6月	御代田分署へ指令車を配備。
	9月	小諸消防署の指令車を更新。
	12月	山梨県峡北地区消防組合と消防相互応援協定を結ぶ。
	12月	軽井沢消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
昭和57年	3月	佐久消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	4月	軽井沢消防署へ救急指令装置C型を設置。
	7月	佐久消防署の広報車を更新。
	7月	第11回消防救助技術関東地区指導会(神奈川県)「ロープブリッジ救出の部」入賞。
	8月	御代田分署へ救急自動車(2B)を配備。
	12月	佐久消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
昭和58年	2月	北部消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	3月	川西消防署庁舎新築移転し、業務開始。消防・救急指令装置B型設置。
	3月	御代田分署の連絡車を更新。
	10月	佐久消防署の指令車を更新。
	11月	北部消防署の救急自動車(2B)を更新。
	11月	南部消防署の指令車を更新。
	12月	小諸消防署の訓練塔、車庫完成。
昭和59年	7月	北部消防署の指令車を更新。
	7月	第13回消防救助技術関東地区指導会(千葉県)「ロープブリッジ救出の部」入賞。
	12月	川西消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	12月	南部消防署川上分遣所に消防無線基地局を設置。
昭和60年	2月	小諸消防署の救急自動車(2B)を更新。
	3月	軽井沢消防署の救急自動車(2B)を更新。
	9月	北部消防署の消防ポンプ自動車を更新。
	11月	南部消防署の救急自動車(2B)を更新。
昭和61年	3月	佐久消防署の救急自動車(2B)を更新。
	5月	北部消防署の査察車を更新。
	12月	軽井沢消防署の消防ポンプ自動車を更新。
昭和62年	3月	佐久消防署へ消防緊急情報システムⅠ型を設置。
	3月	北部消防署の消防無線基地局を25Wに更新。
	3月	軽井沢消防署へ消防無線基地局を設置。
	4月	機構改革により御代田分署を御代田消防署とする。
	8月	川西消防署へ救急自動車(2B)を配備。
昭和63年	1月	南部消防署の通信指令装置を消防緊急情報システムⅠ型に更新。
	11月	南部消防署の広報車を更新。
	11月	御代田消防署の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車に更新。
	12月	北部消防署の救急自動車(2B)を更新。
平成元年	3月	小諸消防署の消防無線基地局を1局(25W)増強。
	4月	軽井沢消防署の救急自動車(2B)を更新。
	7月	第18回消防救助技術関東地区指導会(埼玉県)「ロープブリッジ救出の部」入賞。
	12月	小諸消防署の消防ポンプ自動車を更新。
	12月	佐久消防署の救助工作車(Ⅱ型)を更新。
平成2年	1月	川西消防署の査察広報車を更新。
	2月	消防本部へ防火広報車を配備。(宝くじ号寄贈)
	3月	佐久消防署の広報車を更新。
	3月	御代田消防署の救急自動車(2B)を更新。
	8月	小諸消防署へ救急自動車(2B)を配備。

平成3年	2月	川西消防署の救急車自動(2B)、消防ポンプ自動車を更新。
	2月	佐久消防署、南部消防署の救急自動車(2B)を更新。
	3月	軽井沢消防署の小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を更新。
	10月	川西消防署の指令車を更新。
	12月	ドクターカー運行開始。(厚生省緊急現場支援システムモデル事業)
平成4年	2月	佐久消防署の化学消防ポンプ自動車を更新。
	2月	軽井沢消防署の救急自動車(2B)を更新。
	2月	南部消防署の消防ポンプ自動車を更新。
	8月	佐久消防署へ広報車を配備。
	8月	川西消防署へ連絡車を配備。
	8月	北部消防署の指令車を更新。
	9月	南部消防署川上分遣所の救急自動車(2B)を更新。
	9月	御代田消防署の指令車を更新。
	9月	御代田消防署の指令車を更新。
平成5年	1月	佐久消防署へ救急自動車(2B)を配備。
	1月	御代田消防署の救急自動車(2B)を更新。
	3月	上信越自動車道佐久ICまで開通、供用開始に伴い消防業務を開始。(27日)
	4月	佐久広域消防職員数235名体制となる。
	9月	消防本部の指令車を更新。
	10月	南部消防署の指令車を更新。
	10月	軽井沢消防署の広報車を更新。
	12月	川西消防署へ高規格救急自動車を配備。
	12月	川西消防署の小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を更新。
	1月	小諸消防署へ救助工作車Ⅱ型を配備。
	2月	佐久消防署へ小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を配備。
	3月	佐久消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
平成6年	3月	南部消防署川上分遣所の積載車を更新。
	4月	佐久広域消防職員数237名体制となる。
	7月	第23回消防救助技術関東地区指導会(埼玉県)「ロープブリッジ救出の部」入賞。
	7月	北部消防署の査察車を更新。
	7月	御代田消防署へ大型救助器具を配備。
	11月	救急救命士養成開始。佐久広域第1号誕生。
	1月	阪神・淡路大震災発生、災害現場へ救助隊を派遣。
	2月	南部消防署の林野火災工作車を更新。
	3月	軽井沢消防署の救急自動車(2B)、水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	4月	佐久広域消防職員数240名体制となる。
	7月	第24回消防救助技術関東地区指導会(神奈川県)「斜めブリッジ救助の部」出場。
	11月	上信越自動車道が小諸ICまで開通し、消防業務を開始。(11日)
平成7年	11月	北部消防署へ高規格救急自動車を配備。
	12月	南部消防署へ高規格救急自動車を配備。
	2月	長野県消防相互応援協定締結。
	2月	南部消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	2月	御代田消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	4月	佐久広域消防職員数241名体制となる。
	9月	第1回長野県緊急消防援助隊合同訓練。(県消防学校)
	10月	上信越自動車道の開通に伴い、消防職員の定数を257名とする。
	11月	上信越自動車道更埴JCTまで開通、東部湯ノ丸ICまで消防業務開始。(14日)
	12月	北部消防署の救助工作車(Ⅰ型)を更新。
	12月	小谷村蒲原沢土石流災害現場に、8日～15日まで職員延べ73名を派遣。
	12月	小諸消防署へ高規格救急自動車を配備。
平成8年	1月	小諸消防署へ高規格救急自動車を配備。
	3月	川西消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。(緊急消防援助隊登録)
	5月	小諸消防署の資機材運搬車を更新。
	7月	第26回消防救助技術関東地区指導会(千葉県)「ロープブリッジ救出の部」出場。
平成9年	9月	川西消防署の林野火災工作車を更新。
	9月	南部消防署へ広報車(連絡車)を配備。
	10月	第2回長野県緊急消防援助隊合同訓練。(松本市)
	12月	小諸消防署の指令車を更新。
平成10年	1月	北部消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	1月	軽井沢消防署へ高規格救急自動車を配備。

	3月	小諸消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	3月	佐久消防署へ高規格救急自動車を配備。
	4月	佐久広域消防職員数244名体制となる。
	5月	長野県消防防災航空隊よりジェット燃料備蓄受託。
	7月	第27回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県）「ロープブリッジ救出の部」入賞。
	8月	県下4ブロック別による移動体通信119番接続運用開始。
	8月	上田地域広域消防本部から転送となる。
	10月	第3回長野県緊急消防援助隊合同訓練。（上田市）
	11月	南部消防署の広報車を更新。
	12月	御代田消防署庁舎新築移転し、業務開始。
平成11年	1月	川西消防署へ高規格救急自動車（2台目）を配備。
	3月	北部消防署へ高規格救急自動車（2台目）を配備。
	3月	群馬県高崎市等広域市町村圏振興整備組合との消防相互応援協定を再締結。
	8月	第28回全国消防救助技術大会（神奈川県）「斜めブリッジ救助の部」入賞。
	10月	第4回長野県緊急消防援助隊合同訓練。（飯田市）
	11月	軽井沢消防署へ火災調査車、川西消防署へ査察広報車を配備。
平成12年	3月	南部消防署川上分遣所庁舎新築移転し、業務開始。
	3月	南部消防署の救急車（2B）を更新。（財）日本消防協会より高規格救急車の寄贈）
	3月	佐久地域広域行政事務組合解散。（31日）
	4月	佐久広域連合発足。本部職員を19名とし、職員数241名体制。（1日）
	6月	平成12年度長野県総合防災訓練。（佐久市）
	6月	第5回長野県緊急消防援助隊合同訓練。（佐久市）
	7月	第29回消防救助技術関東地区指導会（埼玉県）「斜めブリッジ救助の部」出場。
	10月	佐久広域連合消防本部事務所移転。（佐久市取出町183番地）
	12月	小諸消防署へ高規格救急自動車（2台目）を配備。
平成13年	1月	軽井沢消防署の普通消防ポンプ自動車を更新。
	2月	北部消防署の普通消防ポンプ自動車を更新。
	4月	軽井沢消防署庁舎新築移転し、業務開始。
	4月	職員10名採用。（241名体制）
	7月	第30回消防救助技術関東地区指導会（東京都）「ほふく救出の部」出場。
	10月	第6回長野県緊急消防援助隊合同訓練。（長野市）
	10月	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練。（長野市）
	12月	南部消防署へ高規格救急自動車（3台目）を配備。
	12月	佐久消防署へ高規格救急自動車（2台目）を配備。
平成14年	4月	職員10名採用。（241名体制）
	7月	第31回消防救助技術関東地区指導会（千葉県）「斜めブリッジ救助の部」・「ほふく救出の部」出場。
	9月	消防本部へ化学防護服3着配備。
	9月	御代田消防署へ高規格救急自動車（1台目）を配備。
	11月	第7回長野県緊急消防援助隊合同訓練。（松本市）
平成15年	4月	職員5名採用。（236名体制）
	5月	重症急性呼吸器症候群（SARS）の所見がある者に対する適切な医療の提供及びまん延防止対策を図るため長野県と患者移送協力について、協定を締結。
	7月	第32回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県）「ロープブリッジ渡過」・「ロープブリッジ救出」・「斜めブリッジ救助の部」出場。
	10月	第8回長野県緊急消防援助隊合同訓練。（中野市）
	12月	小諸消防署の通信指令装置を更新。
	12月	軽井沢消防署へ高規格救急自動車（2台目）を配備。
平成16年	3月	北御牧村が佐久広域連合を脱退することに伴い、川西消防署の管轄区域から北御牧村が除かれる。消防職員の定数を251名とする。
	4月	1名佐久市から派遣。（228名体制）
	7月	第33回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県）「斜めブリッジ救助の部」出場。
	7月	軽井沢消防署の広報車を更新。
	7月	新潟・福島豪雨災害現場へ緊急消防援助隊（救助隊）を派遣。
	7月	福井豪雨災害現場へ緊急消防援助隊（救助隊）を派遣。
	8月	軽井沢消防署の指令車を更新。
	10月	佐久広域連合消防本部事務所移転。（佐久市中込3047番地1）
	10月	第9回長野県緊急消防援助隊合同訓練。（東御市）

平成17年	10月	新潟中越地震災害現場へ緊急消防援助隊(救助隊)を派遣。
	3月	佐久町・八千穂村が合併、「佐久穂町」誕生。(20日)
	4月	佐久市・臼田町・望月町・浅科村が合併、新「佐久市」誕生。(1日)
	4月	職員12名採用。(228名体制)
	7月	第34回消防救助技術関東地区指導会(埼玉県)「ほふく救出の部」出場。
	10月	第10回長野県緊急消防援助隊合同訓練。(茅野市)
	11月	携帯電話119番受信装置設置。
	12月	軽井沢消防署・救急分駐所廃止。
	12月	小諸消防署に資機材積載車を配備。
	12月	川西消防署の高規格救急自動車を更新。
平成18年	2月	御代田消防署の水槽付消防ポンプ自動車を普通ポンプ自動車を更新。
	4月	職員8名採用。(228名体制)
	4月	佐久消防署の通信指令装置を更新。(佐久・北部・川西消防署通信指令装置を統合。)
	7月	岡谷市土石流災害現場へ長野県消防相互応援協定に基づき、7月20日から7月21日まで救助隊1隊5名派遣。
	10月	第11回長野県緊急消防援助隊合同訓練。(木曽町)
平成19年	2月	小諸消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	2月	軽井沢消防署の資機材積載車を更新。
	4月	職員11名採用。1名佐久市から派遣。(231名体制)
	8月	第36回全国消防救助技術大会(東京都)「ほふく救出の部」入賞。
	9月	北部・御代田消防署の指令車を更新。
平成20年	9月	川西消防署の連絡車を更新。
	10月	第12回長野県緊急消防援助隊合同訓練。(須坂市)
	2月	小諸消防署の油圧救助器具を更新。
	3月	消防本部にはしご付き消防自動車(35m級)を配備。(緊急消防援助隊登録)
	4月	職員9名採用。(231名体制)
	4月	長野県東北信地域消防広域化推進事務局(長野市)へ1名出向。
	8月	第37回全国消防救助技術大会(北九州市)「ほふく救出の部」入賞。
	10月	佐久消防署の救助工作車(Ⅱ型)を更新。
	10月	御代田消防署の救急自動車(2B)を高規格救急自動車を更新。
	10月	消防本部の防火広報車を災害対応支援車に更新。(緊急消防援助隊登録)
平成21年	10月	消防本部に移動式高圧コンプレッサー購入。(佐久消防署へ配備)
	10月	平成20年度長野県総合防災訓練。(小諸市)
	10月	第13回長野県緊急消防援助隊合同訓練。(小諸市)
	3月	南部消防署の普通消防ポンプ自動車を更新。
	4月	職員12名採用。(231名体制)
	7月	消防本部の指令車を更新。
	9月	小諸・北部消防署の高規格救急自動車を更新。
	9月	佐久・軽井沢消防署の救急自動車(2B・予備車)を高規格救急自動車を更新。
	10月	第14回長野県緊急消防援助隊合同訓練。(伊那市)
	12月	消防本部に移動式高圧コンプレッサー購入。(2台目、小諸消防署へ配備)
平成22年	4月	職員14名採用。1名佐久市から派遣。(232名体制)
	8月	御代田消防署の広報車を更新。
	9月	小諸消防署の広報車を更新。
	9月	川西・南部消防署の高規格救急自動車を更新。
	10月	緊急消防援助隊関東ブロック訓練事務局(長野市)へ1名派遣。
平成23年	12月	軽井沢消防署の小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を更新。(緊急消防援助隊登録)
	3月	「東北地方太平洋沖地震」発生。M9.0(11日14時46分頃)
	3月	「長野県北部地震」発生。M6.7(12日3時59分頃)
		東日本大震災災害現場へ緊急消防援助隊(救助隊・消火隊・支援隊)を派遣。11日～27日まで。(第一次隊から第六次隊まで 延べ91名)
	3月	佐久消防署の化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新。(緊急消防援助隊登録)
	3月	中部横断自動車道「佐久南IC」から上信越自動車道「佐久・小諸JCT」まで開通。消防業務開始。
	4月	職員11名採用。1名佐久市から派遣。(232名体制)
	7月	佐久消防署の指令車を更新。
	9月	佐久消防署の広報車を更新。
	11月	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練。(松本市、安曇野市)

平成24年	11月	第15回長野県緊急消防援助隊合同訓練。（松本市、安曇野市）
	1月	小諸消防署の救助工作車（Ⅱ型）を更新。（緊急消防援助隊登録）
	2月	軽井沢消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	2月	軽井沢消防署の高規格救急自動車（予備車）を小諸消防署へ所管換。
	3月	南部消防署川上分遣所へ小型動力ポンプ付水槽車（3,000ℓ）を配備。
	3月	南部消防署庁舎新築移転し、業務開始。
	4月	職員15名採用。1名佐久市から派遣。（231名体制）
	7月	北部消防署の広報車を更新。
	7月	第41回消防救助技術関東地区指導会（東京都）「障害突破の部」入賞。
	10月	第16回長野県緊急消防援助隊合同訓練。（上田市）
	12月	南部消防署の林野火災工作車を更新。
平成25年	1月	川西消防署の普通消防ポンプ自動車を更新。
	2月	佐久消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	4月	職員9名採用。（232名体制）
	7月	第42回消防救助技術関東地区指導会（横浜市）「障害突破の部」入賞。
	9月	軽井沢消防署の大型油圧救助器具を更新。
	9月	軽井沢消防署火災調査車を更新。
	10月	南部消防署の連絡車を廃車。
	11月	小諸消防署の指令車を更新。
平成26年	1月	南部消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	2月	川西消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	2月	佐久消防署の高規格救急自動車を更新。
	3月	佐久医療センター開院に伴い、佐久市臼田佐久総合病院本院から、佐久市中込佐久医療センターまで入院患者154名の移送。
	4月	職員10名採用。1名佐久市から派遣。（233名体制）
	9月	御嶽山噴火災害現場へ長野県消防相互応援協定に基づき、9月28日～10月17日まで救急隊・救助隊・後方支援隊を延べ47隊133名派遣。
	10月	北部消防署庁舎新築移転し、業務開始。
	11月	「神城断層地震」発生。M6.8（22日22時08分頃）
		神城断層地震災害現場へ長野県消防相互応援協定に基づき、11月23日に指揮隊・救助隊・支援隊を3隊13名派遣。
	12月	南部消防署の高規格救急自動車を更新。
平成27年	1月	御代田消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	2月	佐久広域連合消防本部事務所移転。（佐久市中込2947番地）
	2月	佐久消防署庁舎新築移転し、業務開始。
	2月	北部消防署の高規格救急自動車を更新。
	4月	職員14名採用。1名佐久市から派遣。（232名体制）
	4月	消防指令センター・消防救急デジタル無線運用開始。
	6月	小諸消防署の資機材運搬車を更新。
	7月	御嶽山噴火災害における行方不明者再捜索活動に長野県市町村災害時相互応援協定に基づく応援要請により、7月28日～8月7日まで救助隊・後方支援隊を延べ2隊5名派遣。
	10月	長野県消防相互応援隊合同訓練（千曲市）
	11月	第5回緊急消防援助隊全国合同訓練（千葉県市原市）
	11月	川西消防署の指令車を更新。
平成28年	11月	南部消防署の大型油圧救助器具を更新。
	12月	川西消防署の小型動力ポンプ付水槽車を更新。
	1月	小諸消防署の高規格救急自動車を更新。
	2月	佐久医療センターへ高規格救急自動車を譲渡。
	3月	小諸消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	4月	職員8名採用。1名長野県へ派遣（233名体制）
	8月	第45回全国消防救助技術大会（愛媛県）「ほふく救出」1位・「はしご登はん」出場。
	9月	G7長野県・軽井沢交通大臣会合消防特別警戒実施。
	10月	長野県総合防災訓練（佐久市）
	10月	長野県消防相互応援隊合同訓練（佐久市）
	10月	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（栃木県）
	10月	群馬県等関越自動車道等消防連絡協議会訓練（佐久市）
	11月	南部消防署の高規格救急自動車を更新。

平成29年	12月	御代田消防署の高規格救急自動車を更新。旧車両を佐久消防署へ所管換。
	12月	佐久消防署の高規格救急自動車を廃車。
	1月	軽井沢大型バス横転事故に伴い、携帯電話からのGPS位置情報強制取得及び位置情報提供設定の自動変更に関する要望書を総務省消防庁へ陳情。
	2月	北部消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。
	3月	長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」が訓練中、松本市鉢伏山に墜落し佐久広域連合消防本部からの派遣1名を含む、搭乗者9名が殉職。当事故における救助活動に長野県消防相互応援協定に基づく応援要請により、救助隊・救急隊・後方支援隊を延べ3隊11名派遣。
	4月	職員13名採用。1名佐久市から派遣。(233名体制)
	4月	くろさわ病院移転に伴い、旧病院から重症患者10名を移送。
	5月	南部消防署の資機材運搬車を更新。
	7月	消防本部の査察運搬車を廃車し、新たに連絡車を配備。
	7月	佐久消防署の広報車を更新。
平成30年	8月	第46回全国消防救助技術大会(宮城県)「ロープブリッジ渡過」2位・「ほふく救出」・「はしご登はん」出場。
	10月	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練(群馬県)
	11月	長野県総合防災訓練(飯田市)
	11月	長野県消防相互応援隊合同訓練(飯田市)
	11月	群馬県等関越自動車道等消防連絡協議会訓練(八風山トンネル)
	12月	浅間南麓こもろ医療センター開院に伴い、旧小諸厚生総合病院から入院患者34名を移送。
	12月	軽井沢消防署の高規格救急自動車を更新。
	1月	災害時における消防用水等の確保に関する協定書。佐久生コン事業協同組合と締結。
	3月	佐久消防署の小型動力ポンプ付水槽車を更新。
	3月	災害時におけるバスによる人員の輸送に関する協定書。バス事業者8社と締結。
平成31年	4月	職員7名採用。1名佐久市へ派遣。(235名体制)
	4月	指揮課を新設し、指揮隊の運用を開始する。
	4月	組織の見直しを行い、消防本部及び署の救急救助係を救急係に改組する。
	4月	佐久医療センター職員、ドクターカー機関員研修 5名受入。
	4月	中部横断自動車道「佐久南IC」から「八千穂高原IC」まで開通。消防業務開始。
	4月	災害現場ICT導入。救急現場活動において運用開始。
	7月	第47回消防救助技術関東地区指導会(東京都)「障害突破の部」出場。
	10月	長野県消防相互応援隊合同訓練(塩尻市)
	11月	群馬県等関越自動車道等消防連絡協議会訓練(赤城SA内)
	11月	南部消防署の広報車を更新。
令和元年	11月	川西消防署の高規格救急自動車を更新。
	11月	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練(神奈川県)
	2月	軽井沢消防署の広報車を資機材運搬車へ更新。
	2月	川西消防署の資機材運搬車を更新。
	2月	殉職者の冥福を祈り、災害の風化、再発防止を誓い、殉職者慰霊碑建立。
	4月	職員14名採用。(240名体制)
	4月	消防本部にBC対応用除染システム(除染テント)を新規購入。
	4月	小諸消防署新庁舎新築工事着工。
	6月	G20「持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」消防特別警戒体制(特別編成部隊:指揮隊・救助隊・化学隊・救急隊3隊)。
	7月	第48回消防救助技術関東地区指導会(長野県)「障害突破の部」出場。
令和2年	8月	川西消防署の救助用ボート(FRP製)を更新。
	9月	南部消防署の指令車を更新。
	9月	消防指令センターに「Net 119 緊急通報システム」を導入。
	10月	令和元年東日本台風 情報収集・救助業務:救助出動11件・救助者42名。延べ救助出動隊27隊・延べ救助出動人員102名。
	2月	消防本部に指揮車を新規購入。
	3月	北部消防署の救助工作車(I型)及び普通消防ポンプ自動車をポンプ付救助工作車に更新。(2台を1台に集約)
	4月	職員7名採用。(242名体制)
	5月	小諸消防署庁舎新築移転し、業務開始。
	10月	緊急消防援助隊関東ブロック訓練事務局(長野市)へ1名派遣。
	3月	軽井沢消防署の資機材積載車を消防本部へ所管換し更新。

	3月	佐久消防署・軽井沢消防署・川西消防署の高規格救急自動車を更新。
	4月	職員3名採用。(241名体制)
	7月	熱海市土石流災害に対し緊急援助隊長野県大隊として、消防隊4隊16名、救助隊4隊28名を7月12日から7月20まで派遣。
令和4年	3月	小諸消防署の高規格救急自動車、軽井沢消防署の消防ポンプ自動車を更新。
	4月	職員7名採用。1名日本消防協会へ派遣。(242名体制)
	7月	佐久消防署訓練塔工事着工。
令和5年	3月	北部消防署及び御代田消防署の高規格救急自動車を更新。北部消防署の旧車両を佐久消防署へ所管換。
	4月	消防本部組織見直しを行い、指揮課を警防課に統合、救急課を新設する。
	4月	職員11名採用。1名長野県消防防災航空隊へ派遣。(244名体制)
	4月	小諸消防署に特別救助隊、佐久消防署及び南部消防署に救助隊が発足。
	5月	佐久消防署訓練塔竣工。
	11月	川西消防署の防火広報車を更新。
令和6年	2月	南部消防署の高規格救急自動車を更新。南部消防署の旧車両を佐久消防署へ所管換。
	2月	軽井沢消防署の指令車を更新。
	3月	佐久広域連合消防職員の佐久地区輸送協議会会員企業への転籍に伴う輸送人材確保応援協力に関する協定を締結。
	4月	職員7名採用。(243名体制)

消 防 相 互 応 援 協 定 等 締 結 の 状 況

(令和6年4月1日現在)

協 定 の 名 称	締結年月日	締 結 消 防 本 部 等
長野県消防相互応援協定	平成8年2月14日	長野県下13消防本部
長野県高速自動車道 消防相互応援協定	平成9年10月16日	長野市消防局 松本広域消防局 諏訪広域消防本部 佐久広域連合消防本部 飯田広域消防本部 上伊那広域消防本部 上田地域広域連合消防本部 岳南広域消防本部 千曲坂城消防本部 須坂市消防本部
消防相互応援協定	平成12年4月1日	高崎市等広域消防局
救急業務委託協定	平成12年4月1日	富岡甘楽広域消防本部
消防・救急相互応援協定	平成12年4月1日	峡北広域行政事務組合消防本部
消防・救急相互応援協定	平成12年4月1日	吾妻広域消防本部
救急業務の応援に関する協定	平成18年5月1日	上田地域広域連合消防本部
関越自動車道・ 上信越自動車道及び 北関東自動車道における 消防相互応援協定	平成23年3月9日	高崎市等広域消防局 前橋市消防局 伊勢崎市消防本部 多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部 児玉郡市広域消防本部 渋川広域消防本部 利根沼田広域消防本部 富岡甘楽広域消防本部 太田市消防本部 足利市消防本部
消防相互応援協定	平成27年3月30日	富岡甘楽広域消防本部
災害時における救助活動等 の協力に関する協定	平成28年8月1日	レッカーサービス110
災害時における消防用水等 の確保に関する協定	平成30年1月12日	佐久生コン事業協同組合（7工場）
災害時におけるバスによる 人員の輸送に関する協定	平成30年3月28日	千曲バス株式会社 西武観光バス株式会社軽井沢営業所 草軽交通株式会社 ＪＲバス関東株式会社小諸支店 東信観光バス株式会社 佐久平観光バス株式会社 有限会社軽井沢観光 信濃物流株式会社

佐久広域連合消防の主な災害記録

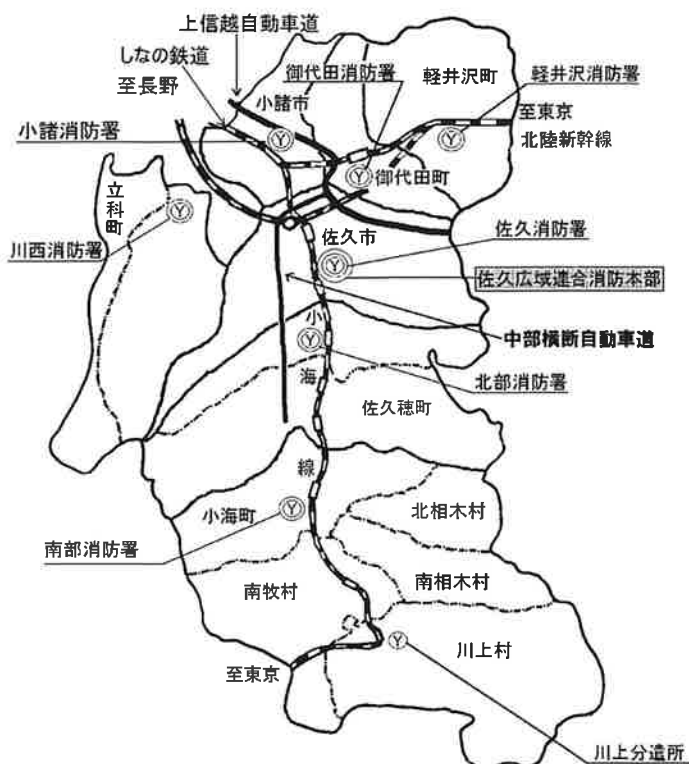
西 暦	年 代	主 な 災 害
1972年	昭和47. 2	北佐久郡軽井沢町において連合赤軍による「浅間山荘事件」 被害者救出・搬送に全面協力
1972年	昭和47. 12	南佐久郡南相木村国有林で県内最大級と言われる林野火災 3日間燃え続け160ha焼失 消火活動出動人員 署員、団員、その他 2,400名
1973年	昭和48. 3	浅間山で中爆発
1974年	昭和49. 5. 4	北佐久郡御代田町塩野（ゴルフ場）で林野火災 167ha焼失 損害額224,062千円 消火活動出動人員 署員、団員、その他1,327名
1982年	昭和57. 4	浅間山で中爆発、火山弾で野火
1982年	昭和57. 8. 1	台風10号による災害 軽井沢町土砂崩落で死者2名 御代田町 住宅破損、農作物等被害総額 2,850,000千円
1982年	昭和57. 9. 14	南佐久郡八千穂村大石川土石流災害 流出面積 6.98ha 避難世帯及び人員 2,040戸 8,000名 出動人員 署員、団員、その他県警航空隊等 860名
1982年	昭和57. 9. 15	台風18号による豪雨災害 御代田町 床下浸水等被害 被害総額 230,000千円
1985年	昭和60. 8. 12	群馬県上野村 日本航空機墜落事故 乗員・乗客520名死亡 重傷者 4名（覚知時間19:30） 全署員非常招集し捜索活動
1992年	平成4. 6. 28	佐久市立中込中学校建物火災 2,975㎡焼失 損害額 104,529千円
1996年	平成8. 7. 27	高速道上信越自動車道小諸石峠地籍で多重交通事故 死者5名 負傷者1名
1998年	平成10. 9. 17	台風5号による豪雨災害 相木川の増水により県道佐久・川上線 道路決壊 乗用車が転落、河川に流され親子2名死亡
1998年	平成10. 12. 27	佐久市大字中込（工場）で建物火災 3,056㎡焼失 損害額 336,865千円
1999年	平成11. 8. 13 ～15	熱帯低気圧による豪雨災害 死者1名、 家屋半壊4棟、一部損壊2棟、床上浸水79棟、床下浸水598棟
2000年	平成12. 2. 21	佐久市大字長土呂（卸店舗）建物火災 1,635㎡焼失 損害額 229,308千円
2001年	平成13. 6. 10	雷雲の通過による豪雨・降ひょう・突風災害 佐久市、御代田町で住家被害 家屋一部損壊8棟、床下浸水3棟 農業関係被害総額 325,305千円
2001年	平成13. 9. 10	台風15号による土砂崩落等災害 北佐久郡軽井沢町茂沢 土砂崩落で死者2名、各地で住家被害 床上浸水2棟、床下浸水68棟 農業関係等被害総額 7,132,788千円
2004年	平成16. 8. 9	低気圧と前線の停滞による豪雨災害 望月町で住家被害 床下浸水5棟
2004年	平成16. 10. 20	台風23号による大雨・強風災害 佐久地域で住家・林業関係被害 床上浸水3棟、床下浸水54棟 公共土木施設等被害総額 996,639千円
2014年	平成26. 2. 14 ～	平成26年豪雪 佐久地方で80cmから100cm弱の降雪 ビニールハウス、家屋等に被害 佐久市では、自衛隊へ除雪災害派遣要請 馬坂・広川原地区住民孤立により、県防災ヘリ出動
2016年	平成28. 1. 15	軽井沢町碓氷バイパスにおける大型観光バス横転事故 死者15名 負傷者26名
2019年	平成31. 4. 5 ～	佐久穂町筆岩建物火災から山林に延焼拡大し、出動車両 消防、団 108台、出動人員 署員、団 486人、応援協定に基づき水の搬送 要請で生コン車9台、山梨、長野各県の防災ヘリ及び自衛隊ヘリが 消火にあたり、2日後に鎮火 住宅及び小屋8棟全焼、1棟部分焼、 車両1台全焼、山林約32haを焼失 損害総額約 51,854千円

2019年	平成31. 4. 19	軽井沢町追分 石尊山山頂にて林野火災が発生。 長野県防災ヘリ及び自衛隊ヘリを派遣要請。防災ヘリが消火にあたる。焼損面積0.72ha
2019年	令和元. 10. 12. ～13	「令和元年東日本台風」による豪雨災害 佐久地域で人的・家屋被害 死者2名、負傷者20名 全壊31棟、半壊201棟、床下浸水800棟 農業関係被害総額 20,394,466千円 消防本部総出動件数125件、延べ出動隊数161隊 (内訳：救急22件、救助11件、警戒・偵察82件、他10件)

佐久広域圏の位置及び地勢

(1) 位置図

- ・所在地 佐久市中込 2947 番地
- ・標高 686m
- ・東経 138°28'58"
- ・北緯 36°14'52"
- ・面積 1,571.18 km²



(2) 圏域の概況

佐久地域広域市町村圏は長野県の東の玄関口に位置し、首都圏にもっとも近く、圏域の総面積は 1,571.18 km²、人口は 201,999 人（令和 6 年 4 月 1 日現在）で県全体に対して面積は 11.6%、人口は約 10% を占めている。

国際親善文化観光都市「軽井沢」をはじめ、野辺山高原、蓼科高原など国内有数の高原観光地を擁し、浅間山、八ヶ岳山麓などの名山が連なる中、北部には上信越高原国立公園、東部には妙義荒船佐久高原国定公園、東南部には秩父多摩甲斐国立公園、西部には八ヶ岳中信高原国定公園が四囲を囲み、圏域中央部を千曲川が南北に縦貫し、豊かな自然が織りなす四季折々の変化に出会うことができる地域です。

この、高原特有の気象条件や千曲川流域の豊かな水の恵みにより、電機、機械、精密等の工業や米作、花卉、高原野菜などの農産業も盛んに行われ、更には、北陸新幹線（軽井沢駅、佐久平駅）、上信越自動車道（佐久 IC、小諸 IC、佐久平スマート IC（ETC 専用 IC））などの高速交通網の整備により、首都圏への通勤も可能となりました。

また、平成 23 年 3 月中部横断自動車道（佐久南 IC）から上信越自動車道（佐久・小諸 JCT）、更に平成 30 年 4 月には、中部横断自動車道（八千穂高原 IC）から（佐久南 IC）の間が開通。延長 22.4 km の区間が開通したことで、より一層の利便性の向上が図られ、地域の活性化が期待されています。

なお、年間降水量は平均 900～1,100 mm 程度の乾燥地帯であり、気温も標高差が大きいいため地域によって格差が激しく内陸性気候の特性を示し四季の変化に富んでいる。

面積・人口・世帯数

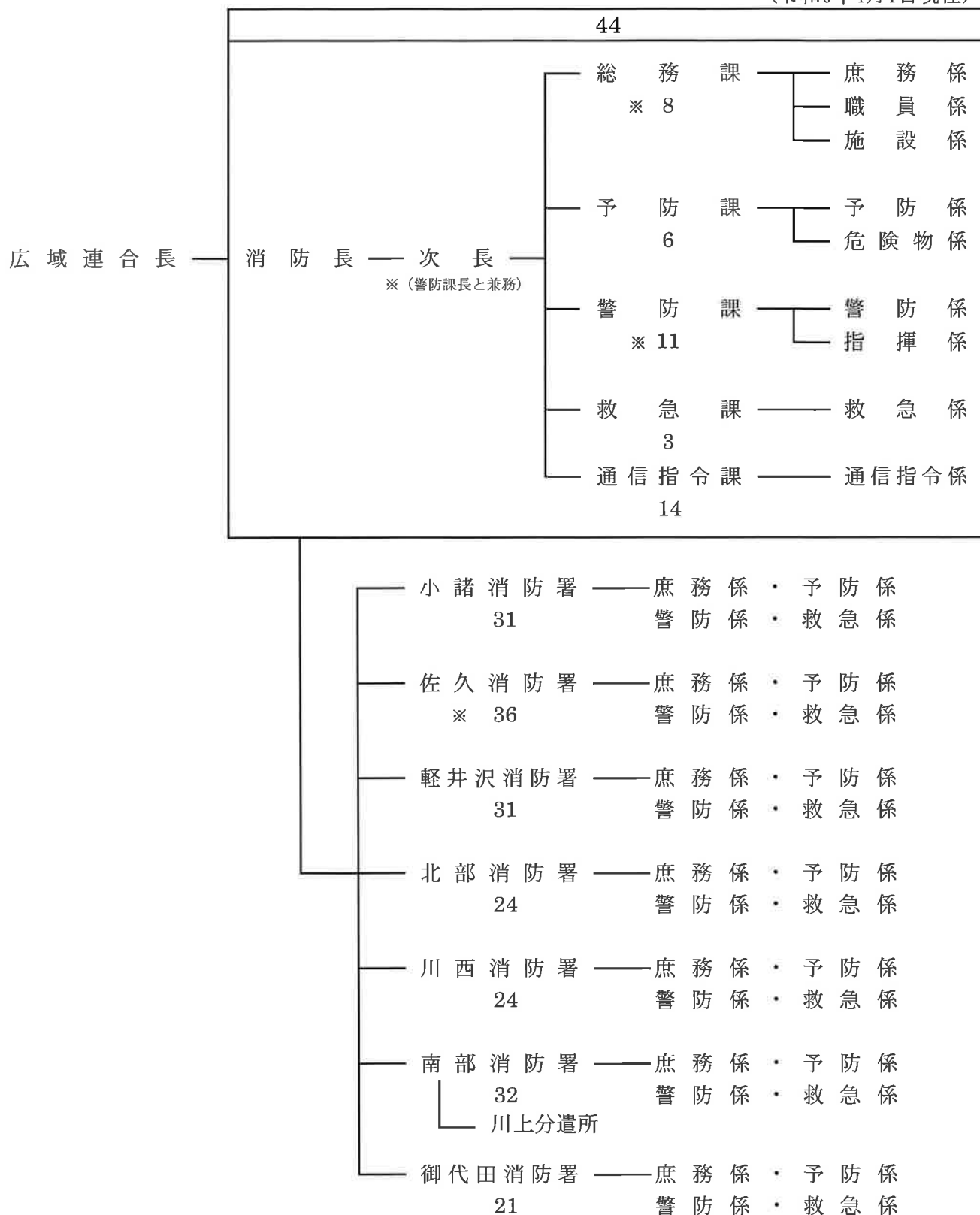
(人口・世帯・面積・標高)

市町村		人 口			世 帯 数	人口密度 人/㎢	面 積 ㎢	標高・役所 役場 m
		総 数	男	女				
合 計		201,999	99,431	102,568	86,223	128.6	1,571.18	—
小 諸 市		40,343	19,661	20,682	17,344	409.4	98.55	680
佐 久 市		96,841	47,459	49,382	41,074	228.7	423.51	692
南 佐 久 郡	佐久穂町	9,734	4,753	4,981	3,927	51.7	※188.15	744
	小 海 町	4,108	2,042	2,066	1,832	36.0	※114.20	855
	川 上 村	3,905	2,316	1,589	1,059	18.6	209.61	1,185
	南 牧 村	3,108	1,733	1,375	1,057	23.4	133.09	1,039
	南相木村	903	446	457	397	13.7	66.05	985
	北相木村	676	343	333	301	12.0	56.32	982
北 佐 久 郡	軽井沢町	19,830	9,511	10,319	9,234	127.1	156.03	938
	御代田町	16,330	8,048	8,282	7,418	277.8	58.79	838
	立 科 町	6,221	3,119	3,102	2,580	93.0	66.87	712

- 1 人口及び世帯数は長野県「毎月人口異動調査」によります。(令和6年4月1日現在)
- 2 面積:国土地理院 全国都道府県市区町村別面積調 (令和6年1月1日現在)
境界未定の市町村については同資料の参考値を※を付し記載してあります。
- 3 標高は「令和5年度版ながの県勢要覧」によります。

消 防 本 部 ・ 署 組 織 機 構

(令和6年4月1日現在)



計 243名 (条例定数 251名) 数字は勤務場所の職員数を表わす。

※次長は警防課長兼務、総務課より1名県航空隊派遣、1名再任用職員、1名佐久消防署と兼務

消 防 機 関 所 在 地 ・ 庁 舎 の 状 況

(令和6年4月1日現在)

消防機関名	所 在 地	構 造	規 模				建 築 年 月	電 話 番 号 F A X 番 号
			敷 面	地 積 ㎡	建 築 面 積 ㎡	延 べ 面 積 ㎡		
1 消 防 本 部	〒385-0051 佐久市中込 2947番地 (庁 舎 3 階)	RC造 3F	5,443.88		1,550.19	3,880.79	平成26.12	0267-64-0119 (FAX)62-7745
2 小 諸 消 防 署	〒384-0006 小諸市与良町 六丁目5番6号	S 造 3F	7,311.73		973.27	2,277.18	令和 2.5	0267-24-0119 (FAX)23-2771
3 佐 久 消 防 署	〒385-0051 佐久市中込 2947 番地	庁舎 RC 造 3F	5,443.88		1,550.19	3,880.79	平成26.12	0267-62-0119 (FAX)63-1194
		訓練塔 RC 造一部 6F	3,396.96		264.4	482.87	令和5.5	
4 軽井沢 消 防 署	〒389-0111 軽井沢町大字 長倉 1706 番地 8	RC 造 2F	4,193.76		1,050.19	1,327.20	平成 13.3	0267-45-0119 (FAX)45-2077
5 北 部 消 防 署	〒384-0303 佐久市下小田切 544 番地 1	RC 造 2F	3,292.76		744.43	1,292.44	平成 26.10	0267-82-0119 (FAX)82-3870
6 川 西 消 防 署	〒384-2204 佐久市協和 132 番地 2	RC 造 一部 3F	4,043.00		1,015.65	1,505.65	昭和 58.3	0267-53-0119 (FAX)54-2244
7 南 部 消 防 署	〒384-1103 小海町大字豊里 1862 番地	RC 造 2F	3,092.27		991.17	1,404.04	平成 24.3	0267-92-0119 (FAX)92-3000
川 上 分 遣 所	〒384-1406 川上村大字原 306 番地 1	RC 造 一部 2F	1,223.00		217.10	229.99	平成 12.3	0267-97-3111 (FAX)97-3139
8 御代田 消 防 署	〒389-0206 御代田町大字 御代田 2382 番地 3	RC 造 2F	1,876.41		712.87	1,000.66	平成 10.11	0267-32-0119 (FAX)32-7067

事 務 分 掌

【消防本部】

〔総務課〕

庶務係

- (1) 消防事務の企画及び連絡調整に関する事。
- (2) 統計資料及び消防情報に関する事。
- (3) 庶務に関する事。
- (4) 表彰に関する事。
- (5) 庁内取締に関する事。
- (6) 渉外事務に関する事。
- (7) 消防相互応援協定に関する事。
- (8) 公印の保管に関する事。
- (9) 文書の収受及び発送に関する事。
- (10) 消防に関する諸規程の制定及び改廃に関する事。
- (11) 諸会議に関する事。
- (12) 消防予算及び決算に関する事。
- (13) 財産の維持管理に関する事。
- (14) その他、他の係に属さない事。
- (5) 工事の設計、監査及び検査に関する事。
- (6) 用地の調査、取得及び借用に関する事。
- (7) 営繕に関する事。

〔予防課〕

予防係

- (1) 火災予防及び防火意識の普及啓発に関する事。
- (2) 火災予防の査察及び指導、育成に関する事。
- (3) 火災予防対策に関する事。
- (4) 防火運動に関する事。
- (5) 建築基準法（昭和25年法律第201号）に基づく建築確認等の同意に関する事。
- (6) 消防用設備等又は特殊消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- (7) 消防法施行令（昭和36年政令第37号）別表第1に掲げる防火対象物等の査察に関する事。
- (8) 防火対象物の違反処理に関する事。
- (9) 防災規制に関する事。
- (10) 防火基準適合表示に関する事。
- (11) 災害気象に関する事。
- (12) 防火管理者の育成指導に関する事。
- (13) 幼少年婦人防火委員会に関する事。
- (14) 防火管理者協会に関する事。
- (15) 火災の原因調査及び調査資料の収集分析に関する事。

職員係

- (1) 職員の任免、分限、懲戒及び配置に関する事。
- (2) 職員の評定に関する事。
- (3) 職員の服務、研修及び教養に関する事。
- (4) 職員の諸給与の支給に関する事。
- (5) 消防職員委員会に関する事。
- (6) 職員の衛生管理に関する事。
- (7) 職員の福利厚生に関する事。
- (8) 職員の貸与品に関する事。

施設係

- (1) 消防施設の計画及び調査、研究に関する事。
- (2) 消防財産の管理及び処分に関する事。
- (3) 工事請負、その他契約に関する事。
- (4) 消防施設の設置に関する事。
- (16) 予防関係の統計及び報告に関する事。
- (17) 諸届出の受理及び処理に関する事。
- (18) 予防関係照会文書の処理に関する事。

危険物係

- (1) 危険物製造所等の設置に係る許可及び完成検査に関する事。
- (2) 指定数量以上の危険物を貯蔵する液体危険物タンクの検査に関する事。
- (3) 火薬類取締法（昭和25年法律第149号）に基づく火薬類の譲渡又は譲受け及び消費の許可に関する事。
- (4) 液化石油ガス設備工事の届出に関する事。
- (5) 液化石油ガス施設の保安に関する事。
- (6) 危険物製造所等の違反処理に関する事。
- (7) 危険物取扱者の講習及び育成指導に関する事。
- (8) 危険物安全協会に関する事。
- (9) 火災の原因調査及び調査資料の収集分析に関する事。
- (10) 危険物の統計及び報告に関する事。
- (11) 諸届出の受理及び処理に関する事。
- (12) 危険物関係照会文書の処理に関する事。

〔警防課〕

警防係

- (1) 消防計画に関する事。
- (2) 警防訓練計画に関する事。
- (3) 災害の出動計画に関する事。
- (4) 消防相互応援協定に基づく応援及び受援に関する事。
- (5) 長野県航空隊の消防応援の要請に関する事。
- (6) 国、県、緊急消防援助隊に関する事。
- (7) 職員の非常招集に関する事。
- (8) 広域市町村の防災等に関する調整に関する事。
- (9) 警防の統計及び報告に関する事。
- (10) 諸届出の受理及び処理に関する事。
- (11) 警防関係照会文書の処理に関する事。
- (12) 消防機械器具の導入計画及び配置、処分に
関する事。
- (13) 消防機械器具の整備保全に関する事。

- (14) 広域市町村消防団の指導育成及び連絡調整に関する事。

指揮係

- (1) 災害現場の統制に関する事。
- (2) 活動隊員の安全確保に関する事。
- (3) 消防活動状況の把握並びに部隊の増強及び応援要請に関する事。
- (4) 関係機関との災害活動状況等の調整に関する事。
- (5) 災害現場における広報及び報道対応に関する事。
- (6) 災害現場における火災調査の連絡調整に関する事。
- (7) 効果的な警防活動のための訓練及び研究に関する事。
- (8) 消防機械器具の取扱指導及び研究改善に関する事。

〔救急課〕

救急係

- (1) 救急活動に関する事。
- (2) 救急救命士及び救急隊員の教育指導に関する事。
- (3) 指導救命士に関する事。
- (4) メディカルコントロールに関する事。
- (5) 患者搬送事業に関する事。
- (6) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (7) 救急の統計及び報告に関する事。
- (8) 救急関係照会文書の処理に関する事。
- (9) 医療機関等との連絡調整に関する事。

〔通信指令課〕

通信指令係

- (1) 通信施設の整備計画に関する事。
- (2) 通信施設の整備保全に関する事。
- (3) 消防通信の統制に関する事。

【消防署・所】

庶務係

- (1) 職員の配置、服務、教養及び規律に関すること。
- (2) 職員の表彰内申に関すること。
- (3) 予算の経理に関すること。
- (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (5) 公印の保管に関すること。
- (6) 消防団の指導育成に関すること。
- (7) 消防施設の管理に関すること。
- (8) 物品の管理及び購入に関すること。
- (9) その他、他の係に属さないこと。

予防係

- (1) 火災予防査察に関すること。
- (2) 消防用設備等又は特殊消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (3) 火災予防及び防火意識の普及啓発に関すること。
- (4) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (5) り災の証明に関すること。
- (6) 予防統計に関すること。
- (7) 消防気象に関すること。
- (8) 危険物製造所等の査察に関すること。
- (9) 危険物製造所等に係る命令、認可、承認及び届出に関すること。
- (10) 指定数量未満の危険物及び指定可燃物の届出並びに取扱等の規制に関すること。
- (11) 指定数量未満の危険物等のタンクの水張検査及び水圧検査に関すること。
- (12) 液化石油ガス設備工事の届出に関すること。
- (13) 液化石油ガス施設の保安に関すること。
- (14) 高圧ガス施設及び液化石油ガス施設の設置及び変更に伴う意見書の交付に関すること。
- (15) 危険物の諸統計に関すること。
- (16) 幼少年、婦人消防クラブの指導、育成に関すること。

- (17) 危険物安全協会及び防火管理者協会支部の指導、育成に関すること。
- (18) 条例等に基づく届出の受理に関すること。

警防係

- (1) 火災、その他の災害の警戒及び防御に関すること。
- (2) 警防計画及び警防訓練計画に関すること。
- (3) 消防用機械器具の整備保全に関すること。
- (4) 通信施設の管理に関すること。
- (5) 消防通信に関すること。
- (6) 自衛消防隊、自主防災組織の訓練及び指導に関すること。
- (7) 訓練、演習に関すること。
- (8) 消防地理水利に関すること。
- (9) 警防の諸統計に関すること。
- (10) 条例に基づく届出の受理に関すること。
- (11) 災害現場における指揮に関すること。
- (12) 救助活動に関すること。
- (13) 救助の統計及び報告に関すること。

救急係

- (1) 救急活動に関すること。
- (2) 救急機械器具の整備保全に関すること。
- (3) 救急訓練及び指導に関すること。
- (4) 応急手当の普及及び育成に関すること。
- (5) 救急の証明に関すること。
- (6) 救急の統計及び報告に関すること。

分遣所

- (1) 火災、その他の災害の警戒及び防御に関すること。
- (2) 救急業務に関すること。
- (3) 消防、救急機械器具の整備保全に関すること。
- (4) 消防地理水利に関すること。
- (5) 予防査察に関すること。

人 事

年齢・階級別職員数

(令和6年4月1日現在)

年 齢	消防士	副士長	士長	司令補	司令	司令長	消防監	正監	総 数
総 数	24	34	96	55	21	11	1	1	243
18歳	2								2
19歳	2								2
20歳	5								5
21歳	6								6
22歳	8								8
23歳	1	4							5
24歳		10							10
25歳		5							5
26歳		7							7
27歳		8							8
28歳			4						4
29歳			12						12
30歳			8						8
31歳			10						10
32歳			7						7
33歳			4						4
34歳			10						10
35歳			7						7
36歳			8						8
37歳			8						8
38歳			13						13
39歳			5						5
40歳				4					4
41歳				6					6
42歳				6					6
43歳				3					3
44歳				6					6
45歳				4					4
46歳				3					3
47歳				7					7
48歳				7					7
49歳				4					4
50歳				4					4
51歳					5				5
52歳					10				10
53歳					1				1
54歳					3	1			4
55歳						3			3
56歳									
57歳						4			4
58歳					2		1		3
59歳						3		1	4
60歳									
61歳 (再任用)				1					1

うち再任用				1					1
うち女性	5		4	1					10

(表示数値：消防現勢等調査数値)

職 員 配 置 状 況

(1) 階 級 別 配 置 表

(令和6年4月1日現在)

階 級 署 別	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
消 防 本 部	1	1	4	8	15	15			44
小 諸 消 防 署			1	2	6	15	3	4	31
佐 久 消 防 署			1	2	6	16	6	5	36
軽 井 沢 消 防 署			1	2	6	11	8	3	31
北 部 消 防 署			1	2	5	9	3	4	24
川 西 消 防 署			1	2	4	11	4	2	24
南 部 消 防 署			1	2	6	11	8	4	32
御 代 田 消 防 署			1	1	7	8	2	2	21
計	1	1	11	21	55	96	34	24	243

(2) 年 齢 別 職 員 数

(令和6年4月1日現在)

年 齢 別 署 別	23 歳 以下	24 歳 以 上	26 歳 以 上	28 歳 以 上	30 歳 以 上	32 歳 以 上	34 歳 以 上	36 歳 以 上	38 歳 以 上	40 歳 以 上	42 歳 以 上	46 歳 以 上	50 歳 以 上	計	平 均 年 齢
消 防 本 部					2	2	2	2	7	2	6	4	17	44	44.7
小 諸 消 防 署	4	1	2	2	3	2	1	4	3	1	2	2	4	31	34.4
佐 久 消 防 署	5	4	2	3	1	2	4	4	2	1	2	3	3	36	33.7
軽 井 沢 消 防 署	5	2	4	2	2	2	2	2	1	1	2	3	3	31	33.8
北 部 消 防 署	5	2			3		3	1	2	1	2	2	3	24	34.4
川 西 消 防 署	2	2	2	1		1	4	2	3	2		2	3	24	36.0
南 部 消 防 署	5	2	5	6	3	1		1		1	2	3	3	32	33.1
御 代 田 消 防 署	2	2		2	4	1	1			1	3	2	3	21	36.7
計	28	15	15	16	18	11	17	16	18	10	19	21	39	243	35.8

職 員 数 の 状 況

(令和6年4月1日現在)

署 別 職 名	総 数	消 防 本 部	小 諸 消 防 署	佐 久 消 防 署	軽 井 沢 消 防 署	北 部 消 防 署	川 西 消 防 署	南 部 消 防 署	御 代 田 消 防 署
総 数	243	44	31	36	31	24	24	32	21
消 防 長	1	1							
次 長	1	1							
課 長・署 長	11 (1)	4 (1)	1	1	1	1	1	1	1
課 長 補 佐 副 署 長	21	8	2	2	2	2	2	2	1
庶 務 係 長	1 (7)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	1
施 設 係 長	1	1							
職 員 係 長	1	1							
予 防 係 長	6 (2)	1	1	1	1	1	(1)	(1)	1
危 険 物 係 長	(1)	(1)							
警 防 係 長	7 (1)	(1)	1	1	1	1	1	1	1
指 揮 係 長	(3)	(3)							
救 急 係 長	7 (1)	1	1	1	1	(1)	1	1	1
通 信 指 令 係 長	2 (2)	2 (2)							
分 遣 所 長	1							1	
庶 務 係	32	3	4	6	6	3	3	4	3
職 員 係	1	1							
予 防 係	50	2	7	8	7	6	6	9	5
危 険 物 係	1	1							
警 防 係	47	1	8	8	7	5	6	8	4
指 揮 係	6	6							
救 急 係	37	1	6	8	5	5	4	5	3
通 信 指 令 係	9	9							

() 内は兼務

職員特殊技術資格取得状況

(令和6年4月1日現在)

署 別 資 格	総 数	消 防 職 員							
		消 防 本 部	小 諸 消 防 署	佐 久 消 防 署	軽 井 沢 消 防 署	北 部 消 防 署	川 西 消 防 署	南 部 消 防 署	御 代 田 消 防 署
救 急 救 命 士	79	16	10	11	10	7	9	9	7
応 急 手 当 指 導 員	224	43	28	32	28	22	23	30	18
大 型 自 動 車 (一 種)	188	43	25	24	21	19	19	20	17
大 型 自 動 車 (二 種)	1		1						
大 型 特 殊 免 許	16	1	2	4	1	3	1	3	1
自 動 二 輪 車	100	25	9	15	13	9	13	11	5
小 型 船 舶 操 縦 士	19	3	1	2	3		5	1	4
危 険 物 取 扱 者 甲	2			1				1	
” 乙	192	37	25	29	24	15	21	26	15
消 防 設 備 士 甲	3	1	1		1				
” 乙	69	14	12	7	8	3	10	10	5
ア マ チ ュ ア 無 線	12	7		2	1			2	
特 定 化 学 物 質 作 業 主 任 者	3	1			1		1		
ガ ス 溶 接	11	1	3	1		1		3	2
衛 生 管 理 者	1					1			
安 全 衛 生 推 進 者	82	23	10	8	9	9	7	8	8
毒 物 ・ 劇 物 一 般 取 扱 者	4	1		1	1				1
車 両 系 建 設 機 械	19		2	3		3	2	4	5
玉 掛 技 能	187	43	22	23	21	17	19	23	19
足 場 取 扱 主 任 者	19	6	2	3	1	3	1	2	1
高 所 作 業 車 運 転 技 能	6	2		2				1	1
移 動 式 ク レ ー ン	187	43	22	25	21	17	19	22	18
巻上げ機（ウインチ）特別教育	22	6	3	4	4	1	1	2	1
陸 ・ 海 上 特 殊 無 線 技 士	235	43	30	34	30	23	24	31	20
移動式クレーン定期自主検査者	8	3		1		1	1	1	1
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	86	24	8	11	8	8	10	8	9
潜 水 士	5	2	1	1			1		

職 員 教 育 ・ 研 修 状 況

(1) 教育・派遣研修

(令和5年度)

区 分	期 間	合 計 人 数	教育・研修派遣消防署								研 修 機 関 等
			本 部	小 諸 署	佐 久 署	軽 井 沢 署	北 部 署	川 西 署	南 部 署	御 代 田 署	
操法指導員講習	第27期	4/6	4		1	1	1			1	長野県消防学校 長野市篠ノ井東福寺
初任科	第66期	4/11～10/1	10		2	2	2	1	1	1	
救助科	第33期	5/10～6/14	3		1	1				1	
ドローン講習	第2期	10/10	3	2	1						
警防科	第40期	10/16～10/27	7		1	1	1	1	1	1	
火災調査科	第51期	11/16～12/1	7		1	1	1	1	1	1	
危険物科	第39期	12/4～12/8	6		1	1	1	1		1	
上級幹部科	第18期	12/6～12/8	1		1						
救急科	第27期	1/9～3/6	9		2	1	2	1	1	1	
予防査察科	第56期	1/29～2/9	6	1	1	1	1			1	
救急高度化研修	第23期	3/11～3/15	2		1	1					
査察業務マネージメントコース	第7期	5/25～5/31	1	1							消防大学校 東京都調布市
幹部科	第76期	1/15～3/1	1					1			救急救命九州研修所 福岡県北九州市
令和5年度 指導救命士養成研修	第2期	7/13～8/25	1	1							

(2) 実務研修

第25回 信州神経救急研究会【未開催】											
信州臨床救急懇話会2023【未開催】											
第26回 日本臨床救急医学会総会	7/28～7/29	2	1		1						帝京大学 板橋キャンパス（東京都）
気管挿管病院実習	6/26～11/9	4				1		2	1		佐久総合病院 佐久医療センター
全国山岳遭難対策協議会		参加なし									
第38回 甲信救急集中治療セミナー【未開催】											
消防実務講習会		参加なし									
実務研修会	10/4	9	2	1	1	1	1	1	1	1	塩尻市レザンホール
火災戦術講習	8/28（レベルⅠ）	2			1					1	ジャパンタスクフォース（大阪府）
	11/11・12（レベルⅡ）	2			1					1	ジャパンタスクフォース（三重県）
第42回プレホスピタル救急医療・災害医療セミナー	9/5～9/6	7		1	1	1	1	1	1	1	（一財）農村保健研修センター
ビデオ喉頭鏡病院実習	1/15～2/16	4				1		2	1		佐久総合病院 佐久医療センター
第36回日本熱傷学会甲信地方会学術集会		参加なし									
救急活動研究会・救急救命士研修会	11/20	10	3	1	1	1	1	1	1	1	鼎文化センター（飯田市）
関東支部違反是正事例発表会	11/24	2		1			1				水戸市民会館（茨城県）
第71回 全国消防技術者会議	11/16～11/17	2	2								三鷹市公会堂（東京都）
第26回 全国消防救助シンポジウム	12/14	3	1	1	1						銀座プロサラム中央会館（東京都）
第32回 全国救急隊員シンポジウム	2/1～2/2	2	1		1						名古屋国際会議場（愛知県）
第61回救急隊員学術研究会	2/17	2		1		1					埼玉会館（埼玉県）
県救急活動研究会・講習会	3/15	8	1	1	1	1	1	1	1	1	いなっせ生涯学習センター（伊那市）

(3) 広域研修

救急救命士病院研修	就業前	令和5年度	2			1	1					広域管内3病院
	就業中		43		8	8	5	6	5	6	5	
メディカルコントロール事後検証会		令和5年度	33	7	4	6	2	3	2	3	6	佐久広域連合消防本部
浅間病院救急事例検討会【未開催】												浅間総合病院（予定）
信州ドクターヘリ事後検証会【WEB開催】		令和5年度	109	23	11	10	8	12	19	13	13	佐久広域連合消防本部（WEB参加）
救急医療業務推進会議【未開催】												浅間南麓こもろ医療センター（予定）
救急担当者研究会		9/22	3	2						1		上伊那広域消防本部
リスクアセスメント講習		12/5	26	3	4	3	2	1	5	5	3	佐久広域連合消防本部
佐久総合病院佐久医療センター救急事例研究会		3/6	48	7	7	7	6	5	5	7	4	佐久医療センター

(4) 資格取得研修

酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	年間 2回	6		1	1	1	1		1	1	佐久地区トラック研修会館
小型移動式クレーン運転技能講習	年間 1回	4				1	1	1		1	佐久地区トラック研修会館
玉掛技能講習	年間 1回	4			1			1	1	1	佐久地区トラック研修会館
小型移動式クレーン運転技能講習											
玉掛技能講習 セット講習	年間1回	3		1		1				1	（一社）中部労働技能教習センター 佐久会場
二級小型船舶操縦士 （湖川小出力限定）	7/27講習 8/6国試	2							2		諏訪市文化センター及び 諏訪市ヨットハーバー
巻上げ機（ウィンチ）特別教育講習	9/2～9/3	3		1	1					1	（一社）日本クレーン協会長野支部
消防・救急緊急自動車運転技能者研修	9/28～10/1	1	1								茨城県自動車安全運転センター 安全運転中央研修所
安全衛生推進者	11/20～11/21	8	1	1	1	1	1	1	1	1	佐久地区トラック研修会館

財 政

消 防 予 算 の 概 要

1 佐久広域消防特別会計

(単位：千円)

歳 入			歳 出		
科 目	金 額	比率 (%)	科 目	金 額	比率 (%)
分担金及び負担金	2,417,551	98.4	消 防 本 部 費	692,000	28.2
使用料及び手数料	2,822	0.1	消 防 署 費	1,762,000	71.7
県 支 出 金	361	0.0	公 債 費		
財 産 収 入	119		予 備 費	3,000	0.1
繰 越 金	3,000	0.1			
諸 収 入	8,628	0.4			
国 庫 支 出 金	24,519	1.0			
歳 入 合 計	2,457,000	100	歳 出 合 計	2,457,000	100

2 消防予算と人口・世帯数との比較

年 度 別	消 防 予 算 (千円)	人 口 (人)	一人当たり 消防費 (円)	世 帯 数 (世帯)	一世帯当たり 消防費 (円)
令和6年度	2,457,000	201,999	12,163	86,223	28,495
令和5年度	2,286,000	202,230	11,303	84,842	26,944
令和4年度	2,254,000	202,731	11,118	83,825	26,889
令和3年度	2,375,900	203,726	11,662	84,353	28,166
令和2年度	2,273,400	204,160	11,135	83,506	27,224
令和元年度	2,235,000	204,719	10,917	82,624	27,050
平成30年度	2,711,200	205,433	13,197	81,865	33,117
平成29年度	2,125,000	206,259	10,302	81,123	26,194
平成28年度	2,127,000	208,273	10,212	82,636	25,739
平成27年度	2,169,000	208,672	10,394	81,394	26,648

令和6年度佐久広域消防特別会計 市町村分担金

区 分 市町村名	令和5年 10月1日 現在人口	基準財政 需要額割 比率 (消防費)	消 防 署 職員数割 比率	消 防 署 車 両 率 比	消 防 本 部 費				消 防 署 費					合 計	
					基 準 財 政 需 要 額 割 合 (消防費) 100%	退職手当 特別分担 金	消防救急無線 デジタル 化 整 備 費	計	小 諸 消防署				小 計 100% ①+②+③		庁舎建設等 管轄消防署 特別分担金 管轄市町村 人口割合 100%
									小 諸 消防署、松井沢消防署、北部消防署						
									川西消防署、南都賀消防署、御代田消防署						
									消防署配置 職員数割合 90% ①	基準財政需要額 割合 (消防費) 5% ②	消 防 署 車両数割合 5% ③				
小 諸 市	40,514	0.1576	0.1566	0.1552	95,349	6,342	10,983	112,674	244,639	13,678	13,470	271,787	271,787	384,461	
佐 久 市	96,479	0.3870	0.3248	0.3313	230,327		25,984	256,311	507,400	33,041	28,753	569,194		825,505	
小 海 町	4,170	0.0467	0.0559	0.0597	28,254		3,375	31,629	87,327	4,053	5,181	96,561	149	128,339	
川 上 村	3,505	0.0501	0.0470	0.0501	30,311		3,482	33,793	73,423	4,348	4,348	82,119	125	116,037	
南 牧 村	2,795	0.0392	0.0375	0.0400	23,716		2,731	26,447	58,582	3,402	3,472	65,456	100	92,003	
南 相 木 村	933	0.0125	0.0125	0.0134	7,563		877	8,440	19,528	1,085	1,163	21,776	33	30,249	
北 相 木 村	645	0.0101	0.0087	0.0092	6,111		693	6,804	13,591	877	798	15,266	23	22,093	
佐 久 穂 町	10,238	0.0769	0.0544	0.0542	46,525		5,246	51,771	84,983	6,674	4,704	96,361		148,132	
軽 井 沢 町	20,846	0.0936	0.1566	0.1379	56,629		7,118	63,747	244,639	8,123	11,968	264,730		328,477	
御 代 田 町	16,087	0.0815	0.1060	0.1035	49,308		5,997	55,305	165,592	7,073	8,983	181,648		236,953	
立 科 町	6,636	0.0511	0.0400	0.0455	30,916		3,514	34,430	62,488	4,435	3,949	70,872		105,302	
計	202,848	1.0000	1.0000	1.0000	605,009	6,342	70,000	681,351	1,562,192	86,789	86,789	1,735,770	430	2,417,551	

【単位：千円】

(単位：千円)



《消防用設備検査》



《危険物施設 配管検査》



《防火対象物立入検査》

予防編

防火対象物

市町村別防火対象物の概要

(令和6年4月1日現在)

用途	区分	総数	小諸署		佐久署		軽井沢署		北部署		川西署		南部署				御代田署		
			小諸市	佐久市	佐久市	佐久市	佐久市	佐久市	佐久市	佐久市	佐久市	立科町	小計	小海町	川上村	南牧村	南相木村	北相木村	小計
1項	イ劇場等	20	3	7			4												
	ロ公会堂等	410	54	98			39		53	37	90		25	11	11	6	64	22	
2項	イキヤバレー等																		
	ロ遊技場等	29	6	17			3		1		1	2							
	ハ性風俗関連特殊店舗																		
	ニカラオケボックス等	6		4							1	1							1
3項	イ待合・料理店等	2	1	1															
	ロ飲食店	562	60	209			127		22	12	34	42	24	6	14	1	1	46	44
4項	ロ百貨店等	639	116	236			142		37	18	55	31	17	6	9	1		33	26
5項	イ旅館等	1,105	78	31			686		5	24	29	121	26	17	50	6	3	102	58
	ロ寄宿舎等	1,777	337	807			260		109	5	114	45	9	13	38	5	6	71	143
	イ病院棟	146	23	56			25		11	4	15	9	4	1	4		1	10	8
	ロ老人短期入所施設等	127	30	41			14		9	5	14	4	4	1	1			6	8
6項	ハ老人デイサービス等	264	58	81			34		14	13	27	34	4	3	4	3	4	18	12
	ニ幼稚園等	15	5	3			2		1		1	2							2
7項	ロ小学校等	97	14	40			9		6	3	9	11	3	3	3	1	1	11	3
8項	ロ図書館等	59	10	3			33		2	2	4	5	1		2	1		4	
9項	イ蒸気・熱気浴場等	5	1	2														1	
	ロイ以外の公衆浴場等	4					2						2					2	
10項	ロ停車場等	22	2	3			9		1	2	3	1	1	2	1			4	
11項	ロ神社等	166	34	59			37		7	7	14	8	3	1	1	1	1	7	7
12項	イ工場等	1,478	446	500			28		173	49	222	90	8	24	36	7	3	78	114
	ロ映画スタジオ等	2					2												
13項	イ自動車庫等	46	10	6			9		11		11	5	1				1	2	3
	ロ飛行機等格納庫	1							1		1								
14項	ロ倉庫	474	150	122			44		49	13	62	16	8	4	7			19	61
15項	ロその他の事業場	1,111	207	333			135		104	59	163	80	20	50	43	13	7	133	60
16項	イ複合用途（特定）	1,112	215	483			160		72	17	89	50	15	25	25	6	1	72	43
	ロ複合用途（非特）	221	54	80			25		37	1	38	4	2	1	4	1		8	12
17項	ロ重要文化財等	19	2	5			1		3		3	4							4
18項	アケーブード	2		2															
総計	総数	9,921	1,916	3,229	1,830	728	271	999	354	265	619	178	168	256	58	36	696	632	

※北部署の佐久市は旧白田町、川西署の佐久市は旧望月町・旧浅科村。17・18項以外は、延べ面積150㎡以上のものとする。

中 ・ 高 層 建 築 物 の 棟 数

(令和6年4月1日現在)

項 目 署 別		階 数 別								
		総 数	3 階 建	4 階 建	5 階 建	6 階 建	7 階 建	8 階 建	9 階 建	10 階 建
総 数		1,312	1,011	179	72	26	11	4	7	2
小 諸 消 防 署	小 諸 市	349	254	64	17	7	4	2		1
佐 久 消 防 署	佐 久 市	530	392	66	40	17	5	2	7	1
軽井沢消防署	軽井沢町	177	171	6						
北 部 消 防 署	佐 久 市	59	43	11	5					
	佐久穂町	13	13							
	小 計	72	56	11	5					
川 西 消 防 署	佐 久 市	32	24	6	2					
	立 科 町	32	22	7	2		1			
	小 計	64	46	13	4		1			
南 部 消 防 署	小 海 町	26	22	3		1				
	川 上 村	11	11							
	南 牧 村	35	22	13						
	南相木村	5	5							
	北相木村	2	2							
	小 計	79	62	16		1				
御代田消防署	御代田町	41	30	3	6	1	1			

※北部署の佐久市は旧白田町、川西署の佐久市は旧望月町・旧浅科村

建築同意件数及び立入検査状況

(令和5年度)

区 分 署 別		受 付 件 数	工 事 種 別								立入検査	
			新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替	用 途 変 更	そ の 他	対 象 物 数	実 施 数
総 数		419	300	107	2			1	9		9,921	401
小諸消防署	小 諸 市	49	33	14					2		1,916	35
佐久消防署	佐 久 市	178	137	38					3		3,229	111
軽井沢消防署	軽 井 沢 町	111	80	29					2		1,830	101
北 部 消 防 署	佐 久 市	19	12	6					1		728	35
	佐久穂町	8	4	1	2			1			271	13
	小 計	27	16	7	2			1	1		999	48
川 西 消 防 署	佐 久 市	13	5	8							354	16
	立 科 町	2		2							265	16
	小 計	15	5	10							619	32
南 部 消 防 署	小 海 町	4	1	3							178	4
	川 上 村	3	2	1							168	11
	南 牧 村	1	1								256	13
	南相木村										58	
	北相木村										36	
	小 計	8	4	4							696	28
御代田消防署	御 代 田 町	31	25	5					1		632	46

※北部署の佐久市は旧白田町、川西署の佐久市は旧望月町・旧浅科村

各 種 届 出 状 況

(令和5年度)

署 別 届出種別	総 数	小 諸 消 防 署	佐 久 消 防 署	軽 井 沢 消 防 署	北 部 消 防 署	川 西 消 防 署	南 部 消 防 署	御 代 田 消 防 署
消防計画作成（変更）届出	485	78	153	104	59	48	23	20
防火管理者選任（解任）届出	386	63	118	85	48	45	13	14
消 防 用 設 備 等 着 工 届 出	159	23	20	63	20	10	12	11
消 防 用 設 備 等 設 置 届 出	455	77	96	160	38	21	29	34
圧縮アセチレンガス等の届出	77	21	21	17	1	1	1	15
防火対象物使用開始届出	239	42	71	58	19	9	14	26
炉・かまど・ボイラー等届出	68	9	11	16	9	9	1	13
発電・変電・蓄電池設備届出	100	17	22	20	12	9	18	2
火災とまぎらわしい発煙届出	1,807	638	309	413	240	115	65	27
煙火打ち上げ・仕掛け届出	58	2	15	1	1	20	14	5
催 し 物 開 催 届 出	36	3	3	12	1	2	8	7
少量危険物・指定可燃物届出	91	13	21	10	21	12	11	3

甲種防火管理資格取得受講状況

(令和5年度)

実 施 日	受講者数	講習会場	備 考			
第 1 回 令和5年5月31日・6月1日	70名	佐久市 市民創錬センター	署 別 小 諸 消 防 署	第 1 回 8	第 2 回 8	第 3 回 6
第 2 回 令和5年7月6日・7日	66名	佐久市 市民創錬センター	佐 久 消 防 署	32	31	15
第 3 回 令和5年9月14日・15日	33名	佐久市 市民創錬センター	軽井沢消防署	6	8	8
			北 部 消 防 署	7	2	2
			川 西 消 防 署	8	9	1
			南 部 消 防 署	5	3	1
			御代田消防署	4	5	

甲種防火管理者再講習受講状況

(令和5年度)

実 施 日	受講者数	講習会場	備 考
令和5年6月23日	43名	佐久市 市民創錬センター	小諸6名 佐久11名 軽井沢16名 北部5名 川西2名 南部3名

危険物施設

消防署別危険物施設数

(令和6年4月1日現在)

区 分 \ 署 別		総 数	小 諸 消 防 署	佐 久 消 防 署	軽 井 沢 消 防 署	北 部 消 防 署	川 西 消 防 署	南 部 消 防 署	御 代 田 消 防 署
総 数		1,307	193	291	267	121	170	193	72
製 造 所		2	1			1			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	77	21	24	2	8	5	4	13
	屋外タンク貯蔵所	91	15	25	9	12	13	11	6
	屋内タンク貯蔵所	26	4	5	12	2		2	1
	地下タンク貯蔵所	524	60	86	170	42	77	75	14
	簡易タンク貯蔵所	9	2			1	2	4	
	移動タンク貯蔵所	213	27	66	29	16	19	42	14
	屋 外 貯 蔵 所	10	1	6	1	1	1		
取 扱 所	給 油 取 扱 所	205	35	44	22	20	30	38	16
	第1・2種販売取扱所	1		1					
	一 般 取 扱 所	149	27	34	22	18	23	17	8

許可・完成検査等の状況

(令和5年度)

区 分		総 数	許 可		完 成 検 査		仮 再 使 用 付	完 成 検 査 前 検 査	仮 取 扱 い 仮 貯 蔵
			設 置	変 更	設 置	変 更			
総 数		171	23	47	21	45	23	8	4
製 造 所		3	1	1	1				
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	11	4	2	4	1			
	屋外タンク貯蔵所								
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所	22	2	9	1	8	1	1	
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	33	10	6	10	5	2		
	屋 外 貯 蔵 所	7	3		3				1
取 扱 所	給 油 取 扱 所	78		25	1	26	20	6	
	第1・2種販売取扱所								
	一 般 取 扱 所	14	3	4	1	5		1	
危険物施設以外		3							3

(表内数値：危険物規制事務調査数値)

消防署別火薬類等許可数

(令和5年度)

種 別 \ 署 別	総 数	小 諸 消 防 署	佐 久 消 防 署	軽 井 沢 消 防 署	北 部 消 防 署	川 西 消 防 署	南 部 消 防 署	御 代 田 消 防 署
総 数	48	3	9	14	4	8	7	3
火 薬 類 の 消 費 許 可 等	9		4		3	2		
煙 火 消 費 許 可 申 請	20		4	3	1	6	4	2
液化石油ガス設備工事届	19	3	1	11			3	1

危険物安全週間推進標語

令和6年度

『次世代へ つなごう無事故と 青い地球（ほし）』

令和5年度	意思つなく 連携プレーで 事故防ぐ
令和4年度	一連の 確かな所作で 無災害
令和3年度	事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム
令和2年度	訓練で 確かな信頼 積み重ね
令和元年度	無事故への 構え一分の 隙も無く
平成30年度	この一球 届け無事故へ みんなの願い
平成29年度	あなたなら 無事故の着地 決められる！
平成28年度	危険物 決めろ無事故の ストライク
平成27年度	無事故へと 気持ち集中 はっけよい

火災統計

管轄区域別火災発生状況

(令和5年中)

内 訳 署 別 管轄区域		出 火 件 数			焼 損 棟 数			り災世帯数			り 災 人 員	死傷者数	焼 損 面 積		損 害 見 積 額 (千 円)										
		総 数	内 容		合 計	内 容	合 計	全 損 損	半 損 損	小 損 損			建 物 (m ²)	林 野 (a)		総 額	内 容		記 録						
			建 物	林 野													車 両	そ の 他		全 焼	半 焼	部 分 焼	ば 焼	や 焼	建 物
総 火 災 件 数		148	55	5	15	73	70	26	7	13	24	39	10	5	24	79	2	20	2,777	291	128	146,155	131,999	10,049	4,107
小 諸 消 防 署	小 諸 市	30	11	1	3	15	16	5	2	3	6	5	1	1	3	10	1	3	478	31	54	15,403	14,482	745	176
佐 久 消 防 署	佐 久 市	29	16	1	2	10	16	5	2	4	5	10	2	1	7	25	5	5	662	152	20	63,711	62,623	1,088	
軽井沢消防署	軽井沢町	16	8		1	7	11	3		2	6	4	1		3	11	1	1	660	2		25,754	24,204	1,550	
	佐 久 市	14	3	1		10	3		1		2	3		1	2	6	1	1	63	2	5	2,232	1,788	14	430
北 部 消 防 署	佐久穂町	8	2		1	5	2	2				1	1			1	1	2	243			9,708	6,330	3,378	
	小 計	22	5	1	1	15	5	2	1		2	4	1	1	2	7	1	3	306	2	5	11,940	8,118	3,392	430
川 西 消 防 署	佐 久 市	13	4	2	1	6	9	5	1	2	1	6	2	1	3	9	4		74	46	37	3,544	3,144	400	
	立 科 町	8	3			5	5	4	1			3	2	1		5			426			20,161	16,925		3,236
	小 計	21	7	2	1	11	14	9	2	2	1	9	4	2	3	14	4		500	46	37	23,705	20,069	400	3,236
小 海 町	小 海 町	5	1			4	1				1	1	1		1	3	1	1	1			47	47		
川 上 村	川 上 村	2	1		1		1	1				1		1	1	1		40	9		1,432	308	1,124		
南 牧 村	南 牧 村	2	1			1	1	1				2	1	1	1	3	1	120	47	12	2,151	2,061	90		
南相木村	南相木村	1			1																50		50		
北相木村	北相木村	1	1				1			1									2						
小 計	小 計	11	4		2	5	4	2	1	1	1	4	1		3	7	2	161	58	12	3,680	2,416	1,264		
御代田消防署	御代田町	19	4		5	10	4				1	3	3		3	5	2	10			1,962	87	1,610	265	

※ 北部署の佐久市は旧白田町、川西署の佐久市は旧望月町・旧浅科村

月別火災発生状況

(令和5年中)

区分 月別	出火件数				焼損棟数				り災世帯数			り災人員		死傷者数			焼損面積			損害額見積（千円）				
	総数	内訳			合計	内訳			合計	内訳			死者	負傷者	建物	床面積	表面積	林野(a)	総数	内訳				
		建物	林野	その他		全焼	半焼	部分焼		ぼや	全損	半損								小損	建物	床面積	表面積	建物
総件数	148	55	5	15	73	70	26	7	13	24	38	10	5	23	74	2	20	2,777	291	128	146,155	131,999	10,049	4,107
1月	9	5	2	1	1	5	2	2	1		3	2		1	4		2	427	135	74	21,927	21,308	191	428
2月	12	3		1	8	3	1		1	1	3			3	7		1	41	16		1,846	451	1,124	271
3月	28	4		1	23	5	1		2	2	2	1		1	3	1	3	213	46		8,286	6,155	917	1,214
4月	25	10	1	2	12	17	8	2	2	5	11	3	2	6	20	1	7	464	77	5	17,237	13,728	3,483	26
5月	6	4			2	4			2	2	2			2	4			60	8	12	2,825	803		2,022
6月	10	4		3	3	4			2	2	3			3	8		1	12	1		1,435	218	1,215	2
7月	9	2		2	5	2	1			1	1			1	1		1	70			1,231	527	560	144
8月	7	2		2	3	5	5				2	2			3			407	2		29,458	28,528	930	
9月	7	3		1	3	3		1		2	2		1	1	2			45	2		15,046	13,496	1,550	
10月	8	6		1	1	6	2		2	2	3	1		2	6		2	427	4		20,572	20,522	50	
11月	11	7	1	1	2	6	2	1	1	2	3		1	2	9		3	314		32	7,355	7,340	15	
12月	16	5	1		10	10	4	1		5	3	1	1	1	7			297		5	18,937	18,923	14	

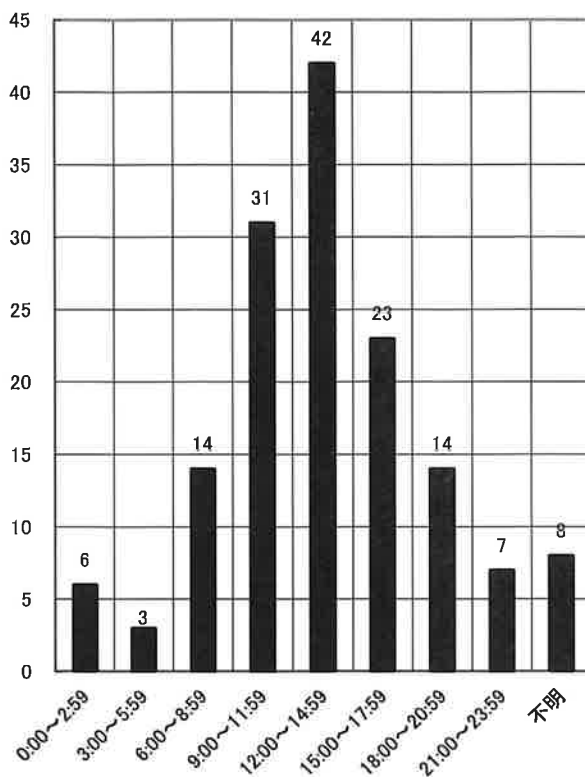
原因別火災発生状況

(令和5年中)

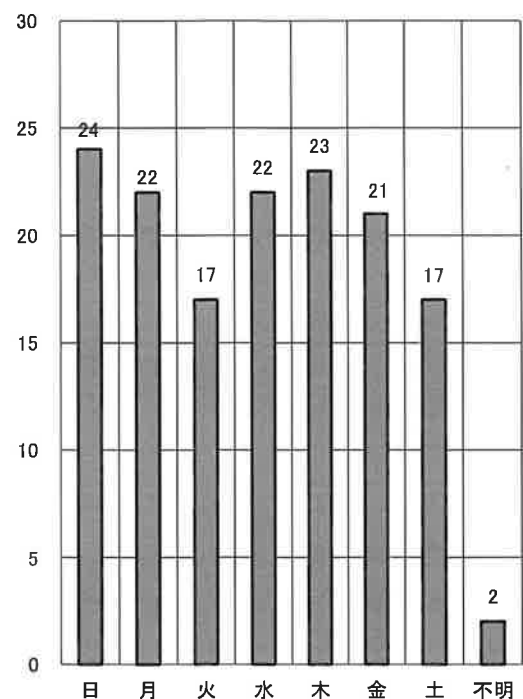
比較	全 国		長 野 県		佐 久 広 域 連 合	
	原 因	件 数	原 因	件数	原 因	件数
総 数	38,659 件		847 件		148 件	
原 因 別	た ば こ	3,493	た き 火	171	火 入 れ	31
	た き 火	3,472	火 入 れ	90	た き 火	28
	こ ん ろ	2,837	こ ん ろ	39	取 灰	5
	放 火	2,487	た ば こ	39	た ば こ	5
	電 気 機 器	2,202	ス ト ー ブ	31	内 燃 機 器	5
	火 入 れ	2,167	放 火	29	ス ト ー ブ	4
	放 火 の 疑 い	1,619	電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	22	煙 突 、 煙 道	4
	電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	1,516	電 気 機 器	21	配 線 器 具	4

※ 原因上位を記載。全国は概数、長野県は速報値を示す。

時間別火災発生状況



曜日別火災発生状況



全 国 統 一 防 火 標 語

令和 6 年度

『守りたい 未来があるから 火の用心』

令和 5 年度	火を消して 不安を消して つなぐ未来
令和 4 年度	お出かけは マスク戸締り 火の用心
令和 3 年度	おうち時間 家族で点検 火の始末
令和 2 年度	その火事を ふせぐあなたに 金メダル
令和 元年度	ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
平成 30 年度	忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認
平成 29 年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
平成 28 年度	消しましょう その火その時 その場所で
平成 27 年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成 26 年度	もういいかい 火を消すまでは まあただよ



《G7長野県軽井沢外務大臣会合特別警戒体制 4/16～4/18》



《協定先事業所等合同訓練 11/24》



警防編

救助活動

救 助 出 動 の 概 要

令和5年中における救助出動の状況は、出動件数 133件、活動件数 79件、救助人員 80人であった。

事故種別ごとに出動件数で最も多いのは、「その他の事故」の 54件で全体の 41%を占め、次いで「交通事故」43件(32%)の順であった。

救助人員については、「その他の事故」が最も多く、35人で全体の44%を占め、次いで「交通事故」の27人(34%)の順であった。

事故種別発生場所別出動件数・活動件数・救助人員の状況

(令和5年中)

区 分 項 目		総 数	火	災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 害 等 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 欠 及 事 故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
出 動 件 数		133	1		43	9		5	18	3		54
屋 内	住 居	32	1						18			13
	その他の屋内	3			1			1				1
屋	高速自動車道	6			6							
	その他道路	33			30					1		2
外	内 水 面	10			1	8						1
	外 水 面	0										
山 岳	山 岳	16										16
	その他の屋外	33			5	1		4		2		21
地 下	地 下	0										
	そ の 他	0										
活 動 件 数		79	1		24	7		2	8	3		34
屋 内	住 居	10	1						8			1
	その他の屋内	0										
屋	高速自動車道	2			2							
	その他道路	19			18					1		
外	内 水 面	9			1	7						1
	外 水 面	0										
山 岳	山 岳	16										16
	その他の屋外	23			3			2		2		16
地 下	地 下	0										
	そ の 他	0										
救 助 人 員		80	1		27	7		2	5	3		35
屋 内	住 居	6	1						5			
	その他の屋内	1			1							
屋	高速自動車道	3			3							
	その他道路	18			17					1		
外	内 水 面	10			2	7						1
	外 水 面	0										
山 岳	山 岳	16										16
	その他の屋外	26			4			2		2		18
地 下	地 下	0										
	そ の 他	0										

消 防 署 別 救 助 出 動 状 況

(令和5年中)

区 分 署 別	総 数	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 害 等 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 酸 欠 事 故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
総 数	133	1		43	9		5	18	3		54
小 諸 消 防 署	39	1		7	4		2	3	1		21
佐 久 消 防 署	36			14	1			7	1		13
軽井沢消防署	16			7			1	4	1		3
北 部 消 防 署	8			4				1			3
川 西 消 防 署	9			2	1		1	2			3
南 部 消 防 署	18			7	2		1	1			7
御代田消防署	7			2	1						4

消 防 車 両 等 の 現 有 状 況

(令和6年4月1日現在)

車 種 署 別	総 数	ポ ン プ 車						そ の 他					
		小 型 付 水 槽 車	水 槽 付 自 動 車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	化 学 消 防 自 動 車	は し ご 付 自 動 車	消 防 ポ ン プ 車	高 規 格 救 急 車	指 揮 車 ・ 指 令 車	広 報 車 等	救 助 工 作 車	林 野 火 災 工 作 車	資 機 材 積 載 車
総 数	65	4	8	4	1	1	1	16	9	16	2	1	2
消 防 本 部	7					1			2	3			1
小 諸 消 防 署	9		2					2	1	2	1		1
佐 久 消 防 署	10	1	1		1			3	1	2	1		
軽井沢消防署	8	1	1	1				2	1	2			
北 部 消 防 署	7		1				1	2	1	2			
川 西 消 防 署	8	1	1	1				2	1	2			
南 部 消 防 署	10	1	1	1				3	1	2		1	
御代田消防署	6		1	1				2	1	1			

消防車両等の配置状況 I

(令和6年4月1日現在)

署別	車両種別	車種	登録番号	ポンプ性能等	登録年月日	経過年数
消防本部	指令車	トヨタ ヴァンガード	長野 831 や 119		H21.7.3	14 年
	広報車	トヨタ クルーガー	長野 800 は 1		H17.10.11	18 年
	災害対応支援車	トヨタ ハイエース	長野 800 さ 8850		H20.10.15	15 年
	連絡車	ニッサン セレナ	長野 501 ふ 6639		H29.7.20	6 年
	資機材積載車	U D コンドル	長野 800 す 5190		R3.3.12	3 年
	はしご付消防自動車	日野 プロフィア	長野 831 ま 119		H20.2.1	16 年
	指揮車	トヨタ ハイエース	長野 800 す 4604		R2.2.21	4 年
小諸消防署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	長野 800 さ 7745	A-2級	H19.2.13	17 年
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	長野 800 は 1124	A-2級	H28.3.3	8 年
	高規格救急車	トヨタ ハイメディック	長野 800 す 2627		H27.12.18	8 年
	高規格救急車	ニッサン パラメディック	長野 800 す 5655		R4.2.3	2 年
	指令車	トヨタ ハイエース	長野 800 す 1544		H25.11.26	10 年
	広報車	トヨタ ウイッシュ	長野 800 さ 9917		H22.9.2	13 年
	救助工作車	日野 レンジャー	長野 800 は 844	II型	H24.1.20	12 年
	資機材運搬車	スズキ キャリイ	長野 480 せ 5559		H27.6.19	8 年
	資機材積載車	日野 デュトロ	長野 831 ん 119		H17.12.8	18 年
佐久消防署	小型動力ポンプ付水槽車	日野 プロフィア	長野 800 は 1235	B-2級	H30.3.16	6 年
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	長野 800 は 924	A-2級	H25.2.15	11 年
	化学消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	長野 800 は 811	A-2級	H23.3.28	13 年
	高規格救急車	トヨタ ハイメディック	長野 800 さ 9925		H22.9.10	13 年
	高規格救急車	トヨタ ハイメディック	長野 800 す 1635		H26.2.26	10 年
	高規格救急車	ニッサン パラメディック	長野 800 す 5176		R3.3.4	3 年
	指令車	ホンダ ステップワゴン	長野 800 す 350		H23.7.29	12 年
	広報車	トヨタ RAV4	長野 800 す 408		H23.9.9	12 年
	広報車	トヨタ ピクシスバン	長野 880 あ 1496		H29.7.26	6 年
	救助工作車	日野 レンジャー	長野 831 む 119	II型	H20.10.3	15 年
軽井沢消防署	小型動力ポンプ付水槽車	日野 プロフィア	長野 830 さ 2212	B-2級	H22.12.14	13 年
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	長野 800 は 847	A-2級	H24.2.7	12 年
	消防ポンプ自動車	日野 デュトロ	長野 830 さ 2203	A-2級	R4.3.15	2 年
	高規格救急車	トヨタ ハイメディック	長野 800 す 3565		H29.12.8	6 年
	高規格救急車	ニッサン パラメディック	長野 800 す 5178		R3.3.4	3 年
	指令車	マツダ CX-30	長野 800 す 6506		R5.11.27	0 年
	広報車	トヨタ ピクシス	長野 880 あ 1024		H25.9.27	10 年
	資機材運搬車	トヨタ ダイナ	長野 800 す 4115		H31.2.1	5 年

消 防 車 両 等 の 配 置 状 況 Ⅱ

(令和6年4月1日現在)

署別	車 両 種 別	車 種	登 録 番 号	ポンプ 性能等	登録年月日	経過 年数
北 部 消 防 署	水槽付消防ポンプ自動車	日 野 レンジャー	長野 800 は 1188	A-2級	H29.2.16	7 年
	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ ハイメディック	長野 800 す 2090		H27.2.9	9 年
	高 規 格 救 急 車	ニッサン パラメディック	長野 800 す 6133		R5.2.15	1 年
	指 令 車	ト ヨ タ エスティマ	長野 800 さ 8145		H19.9.21	16 年
	広 報 車	ニッサン エクストレイル	長野 800 す 851		H24.6.29	11 年
	資 機 材 運 搬 車	ス ズ キ キャリイ	長野 480 す 4339		H26.5.29	9 年
	消防ポンプ付救助工作車	日 野 レンジャー	長野 830 セ 2020	A-2級	R2.3.19	4 年
川 西 消 防 署	小型動力ポンプ付水槽車	日 野 プロフィア	長野 830 す 2015	B-2級	H27.12.15	8 年
	水槽付消防ポンプ自動車	日 野 レンジャー	長野 800 は 988	A-2級	H26.2.13	10 年
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野 レンジャー	長野 800 す 1132	A-2級	H25.1.16	11 年
	高 規 格 救 急 車	ニッサン パラメディック	長野 800 す 5177		R3.3.4	3 年
	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ ハイメディック	長野 830 す 2018		H30.11.15	5 年
	指 令 車	三 菱 デリカ	長野 800 す 2572		H27.11.24	8 年
	広 報 車	ダイハツ ハイゼット	長野 880 あ 2261		R5.11.8	0 年
	資 機 材 運 搬 車	ト ヨ タ ダイナ	長野 800 す 4116		H31.2.1	5 年
南 部 消 防 署	小型動力ポンプ付水槽車	日 野 レンジャー	長野 800 は 851	B-2級	H24.2.20	12 年
	水槽付消防ポンプ自動車	日 野 レンジャー	長野 800 は 982	A-2級	H26.1.23	10 年
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野 デュトロ	長野 800 さ 9016	A-2級	H21.2.20	15 年
	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ ハイメディック	長野 800 す 6569		R6.1.25	0 年
	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ ハイメディック	長野 800 す 2031		H26.12.16	9 年
	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ ハイメディック	長野 800 す 3070		H28.11.25	7 年
	指 令 車	ス バ ル フォレスター	長野 800 す 4356		R1.9.12	4 年
	広 報 車	ト ヨ タ ハイエース	長野 800 す 3992		H30.11.15	5 年
	林 野 火 災 工 作 車	日 野 デュトロ	長野 800 す 1090		H24.12.11	11 年
	資 機 材 運 搬 車	ス ズ キ キャリイ	長野 480 た 5081		H29.5.29	6 年
御 代 田 消 防 署	水槽付消防ポンプ自動車	日 野 レンジャー	長野 800 は 1054	A-2級	H27.1.8	9 年
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野 デュトロ	長野 831 の 119	A-2級	H18.1.19	18 年
	高 規 格 救 急 車	ニッサン パラメディック	長野 800 す 6132		R5.2.15	1 年
	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ ハイメディック	長野 800 す 3111		H28.12.16	7 年
	指 令 車	ト ヨ タ ハイエース	長野 800 さ 8140		H19.9.19	16 年
	広 報 車	マ ツ ダ スクラムワゴン	長野 880 あ 656		H22.7.26	13 年

公設水利状況（市町村別）

（令和6年4月1日）

区分 市町村別 署別		消火栓			防火水槽		
		合計	基準	基準外	合計	40 m ³ 以上	40 m ³ 未満
総数		8,179	2,791	5,388	1,258	759	499
小諸消防署	小諸市	1,368	204	1,164	245	122	123
佐久消防署	佐久市	1,764	958	806	201	119	82
軽井沢消防署	軽井沢町	928	398	530	105	14	91
北部消防署	佐久市	482	277	205	31	15	16
	佐久穂町	576	224	352	87	46	41
	小計	1,058	501	557	118	61	57
川西消防署	佐久市	745	158	587	107	59	48
	立科町	662	224	438	135	101	34
	小計	1,407	382	1,025	242	160	82
南部消防署	小海町	447	46	401	52	41	11
	川上村	243		243	96	90	6
	南牧村	205		205	71	71	
	南相木村	122	16	106	19	17	2
	北相木村	76	76		16	16	
	小計	1,093	138	955	254	235	19
御代田消防署	御代田町	561	210	351	93	48	45

管轄区域別指揮隊出動状況

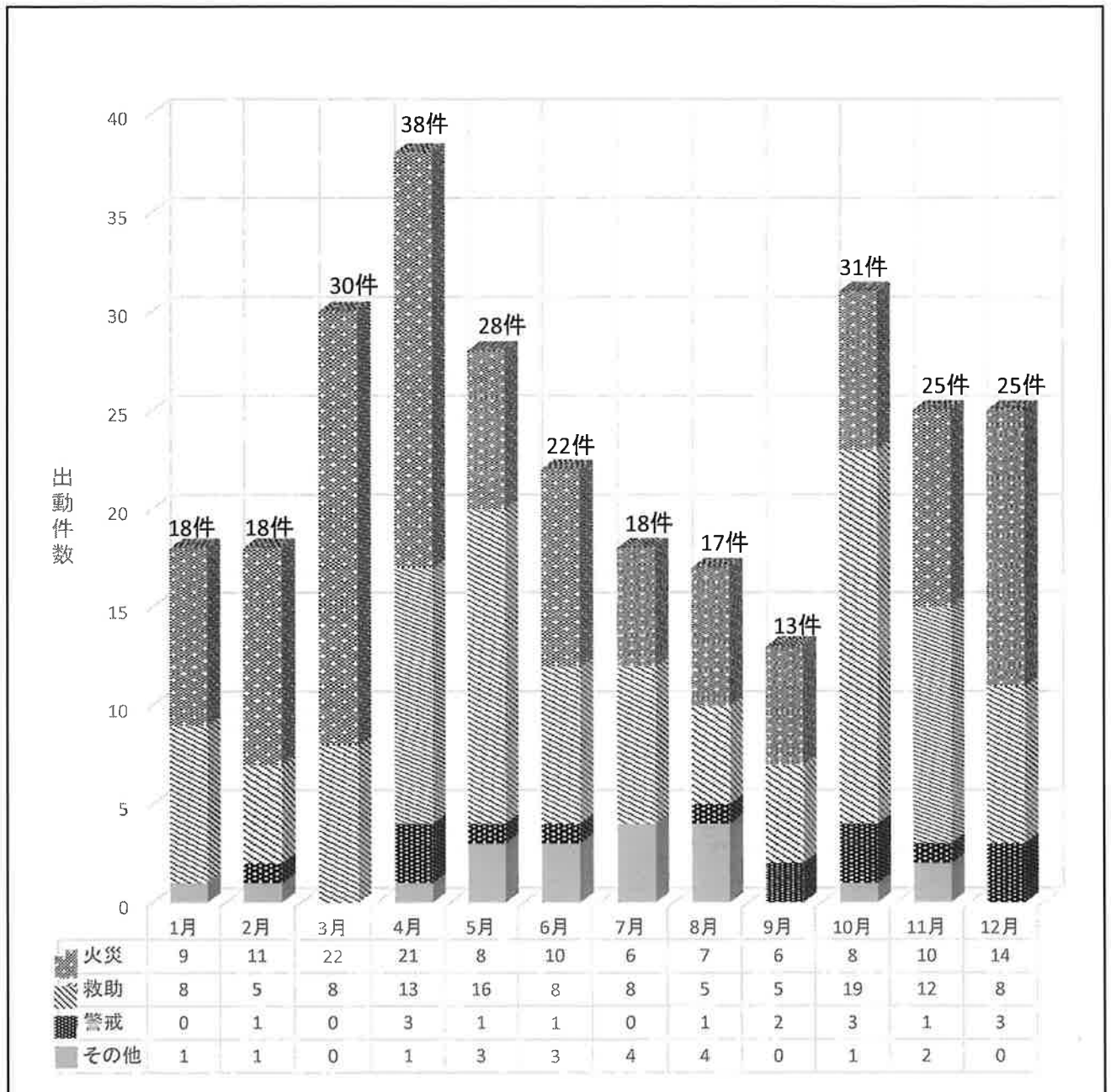
(令和5年中)

内 訳	総 件 数	火 災 出 動						救 助 出 動						警 戒 出 動						そ の 他 出 動					
		合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	山 岳 事 故	墜 落 事 故	そ の 他	合 計	救 急 支 援	火 災 調 査	捜 索	管 外 応 援	そ の 他
総 計	283	132	42	4	14	0	0	15	55	41	9	0	5	17	3	0	15	8	17	16	20	19	0	0	1
小 諸 防 防 署	57	28	9	1	4			1	13	5	3		2	4	1		1	3	4	3	3	2			1
佐 久 防 防 署	72	27	13		2			6	6	14	1			5	1		3	1	5	6	9	9			
軽 井 沢 防 防 署	27	10	5		1			2	2	6			1	4	1		1		2	0					
佐 久 市	22	14	2	1				2	9	4				2				1		2	2	2			
北 部 防 防 署	16	9	2		1			1	5	3									2	1	1	1			
小 計	38	23	4	1	1	0	0	3	14	9	4	0	0	2	0	0	1	2	3	0	3	3			
佐 久 市	21	12	3	2	1			3	3	7	2	1	1	1			2		1	1	1	1			
川 西 防 防 署	12	8	3						5	4				1			2	1	0		0				
小 計	33	20	6	2	1	0	0	3	8	11	2	1	0	1	2	0	2	2	1	1	1	1	0	0	0
小 海 町	13	5						1	4	7	3	1	1				2			1	1				
川 上 村	9	3	2					1		6	2						4			0					
南 牧 村	9	2	1						1	4	2	1						1		3	3				
南 相 木 村	1	1			1				0	0										0					
北 相 木 村	1	1	1							0										0					
小 計	33	12	4	0	1	0	0	2	5	17	7	2	0	1	0	0	6	0	1	0	4	4	0	0	0
御 代 田 防 防 署	20	12	1		4				7	7	3	1					1	2	1	0					
県 内	1	0								1	1								0						
県 外	2	0								2						2			0						

※北部消防署の佐久市は旧白田町、川西消防署の佐久市は旧望月町・旧浅科村

月別指揮隊出動件数

(令和5年中)



(令和5年中)

	火災	救助	警戒	その他	合 計
小 諸 消 防 署	28	23	3	3	57
佐 久 消 防 署	27	30	6	9	72
軽 井 沢 消 防 署	10	15	2	0	27
北 部 消 防 署	23	9	3	3	38
川 西 消 防 署	20	11	1	1	33
南 部 消 防 署 (川 上 分 遣 所)	12	17	0	4	33
御 代 田 消 防 署	12	7	1	0	20
管外 (県内・県外)	0	3	0	0	3
合 計	132	115	16	20	283

※管轄別指揮隊出動件数調べ



『東信ブロック合同訓練 救急訓練』



『特定在宅療法(気管カニューレ)研修会』

救急編

救急活動

救 急 出 動 の 概 要

(令和5年中)

区 分		総 数	事 故 種 別										
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
出動件数総数		12,788	67	0	6	597	113	57	2,066	26	73	8,305	1,478
搬送人員総数		12,028	15	0	2	605	111	57	1,952	18	47	7,767	1,454
出 動 件 数	令和5年	12,788	67	0	6	597	113	57	2,066	26	73	8,305	1,478
	令和4年	11,871	52	0	6	570	80	44	2,020	26	88	7,664	1,321
	増 減	917	15	0	0	27	33	13	46	0	△ 15	641	157
搬 送 人 員	令和5年	12,028	15	0	2	605	111	57	1,952	18	47	7,767	1,454
	令和4年	11,131	18	0	0	574	80	44	1,934	23	61	7,105	1,292
	増 減	897	△ 3	0	2	31	31	13	18	△ 5	△ 14	662	162

署 別 救 急 出 動 件 数

(令和5年中)

区 分 署 別	総 数	事 故 種 別										
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総 数	12,788	67	0	6	597	113	57	2,066	26	73	8,305	1,478
小 諸 消 防 署	2,497	11	0	3	94	19	7	369	5	18	1,737	234
佐 久 消 防 署	3,340	8	0	1	176	32	14	540	6	24	2,299	240
軽井沢消防署	1,989	6	0	0	101	18	14	387	3	4	1,303	153
北 部 消 防 署	1,560	7	0	0	52	9	2	202	3	7	846	432
川 西 消 防 署	1,443	13	0	1	69	11	6	234	3	1	1,017	88
南 部 消 防 署	979	2	0	0	35	13	14	165	3	8	488	251
御代田消防署	980	20	0	1	70	11	0	169	3	11	615	80

市町村別救急出動件数

(令和5年中)

区 分 市町村別	総 数	事 故 種 別										
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
総 数	12,788	67		6	597	113	57	2,066	26	73	8,305	1,478
小 諸 市	2,549	17		3	92	22	6	370	5	19	1,772	243
佐 久 市	5,331	26		1	243	38	17	811	11	26	3,465	693
南 佐 久 郡	佐久穂町	532	4		19	6	2	87	1	5	345	63
	小 海 町	506	1		16	4	7	65	2	1	192	218
	川 上 村	203	1		9	3	3	45		3	114	25
	南 牧 村	188	1		9	1	4	39	1	3	120	10
	南相木村	40	1		1	2		6			30	
	北相木村	38	1			3		7		1	26	
北 佐 久 郡	軽井沢町	2,038	7		101	19	14	412	3	3	1,322	157
	御代田町	769	5	1	51	6		119	2	10	518	57
	立 科 町	542	3		37	8		96	1	2	383	12
上信越自動車道	34				16	1		2			15	
中部横断自動車道	2				2							
管 轄 外	16			1	1		4	7			3	

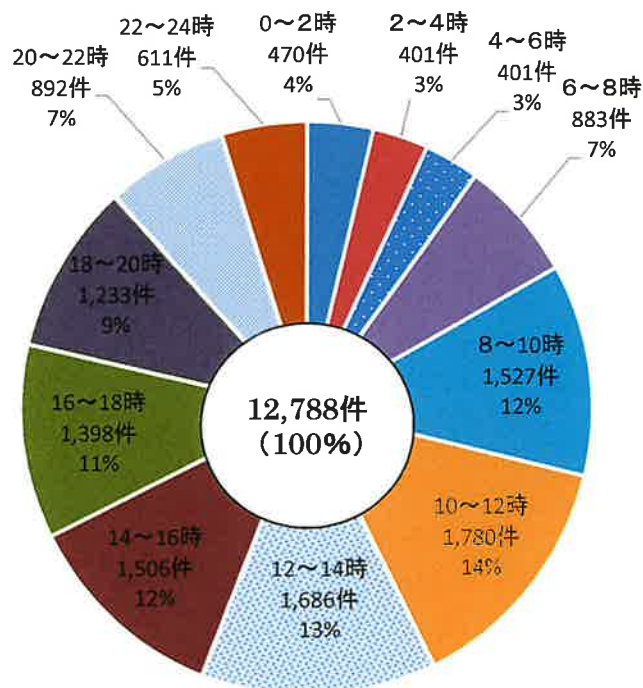
※ 管轄外出場件数は、上記以外の市町村。

月 別 救 急 出 動 件 数

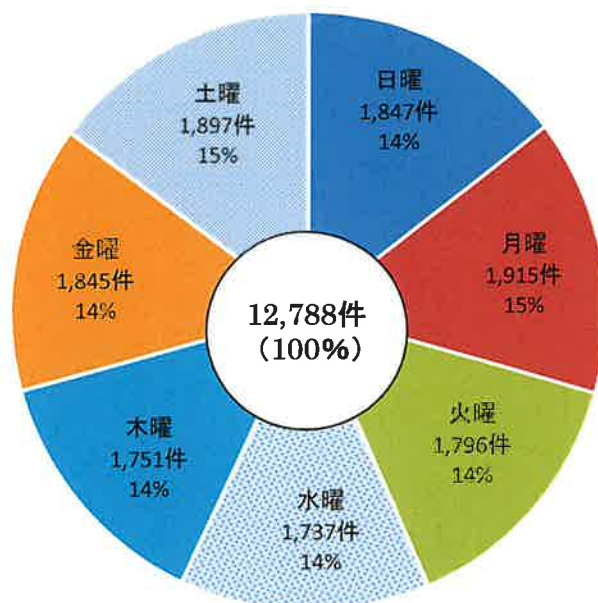
(令和5年中)

区 分 月 別	総 数	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
総 数	12,788	67		6	597	113	57	2,066	26	73	8,305	1,478
1 月	1,153	7			35	9	4	197	3	7	768	123
2 月	941	2		1	30	5	4	184	2	3	591	119
3 月	978	5			28	12	4	149	6	5	635	134
4 月	940	13		2	43	5	6	152		6	620	93
5 月	991	4		1	48	7	8	160	1	3	637	122
6 月	973	4		1	62	14	2	145	2	8	617	118
7 月	1,182	5			55	15	4	184	3	9	788	119
8 月	1,327	3			84	10	8	204	4	4	865	145
9 月	1,081	1			64	9	7	170		5	687	138
10 月	1,079	6		1	52	12	4	181	1	10	678	134
11 月	1,044	10			56	10	3	165	2	5	696	97
12 月	1,099	7			40	5	3	175	2	8	723	136

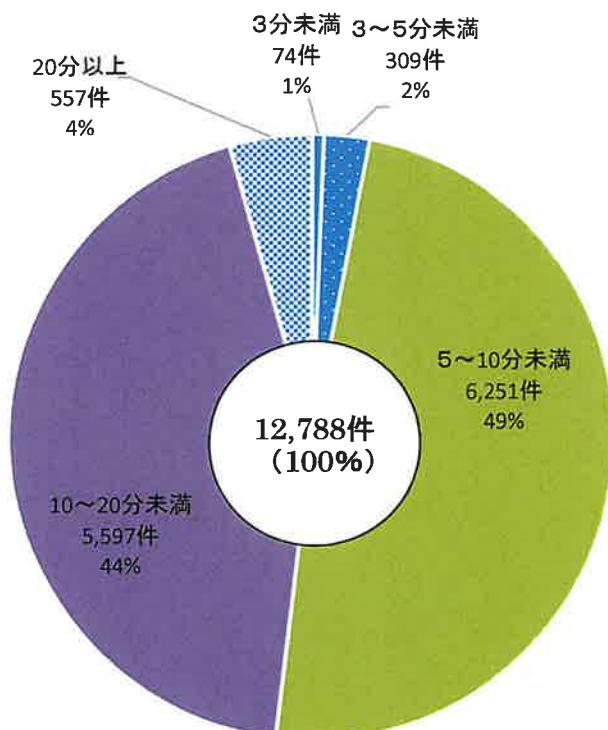
時間別救急出動状況



曜日別救急出動状況

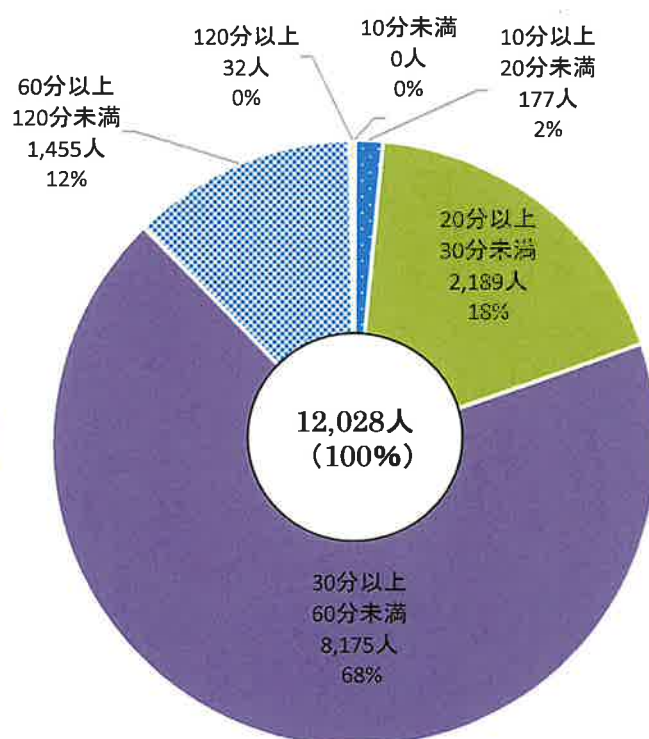


現場到着所要時間別状況



平均 令和5年 … 10.2分
令和4年 … 10.0分

医療機関までの所要時間別状況



平均 令和5年 … 42.4分
令和4年 … 42.2分

※覚知から現場到着までの所要時間は前年に比べ12秒延伸した。

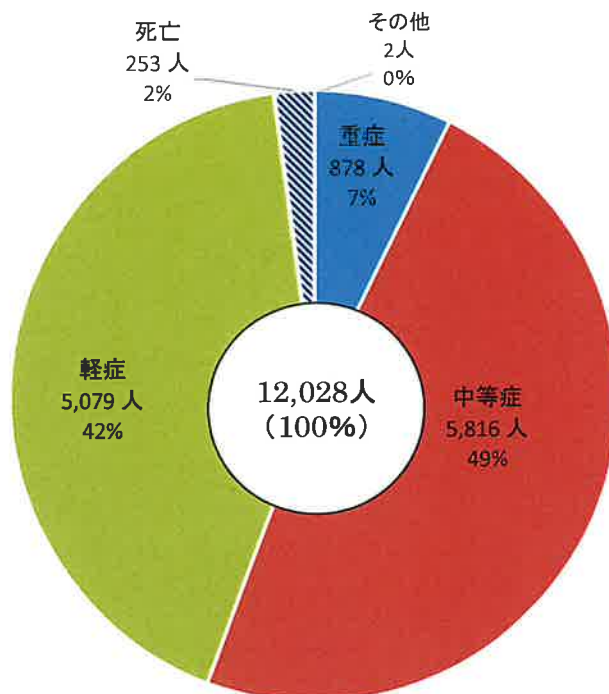
※覚知から医療機関収容までの所要時間は前年に比べ12秒延伸した。

傷病程度別搬送人員状況

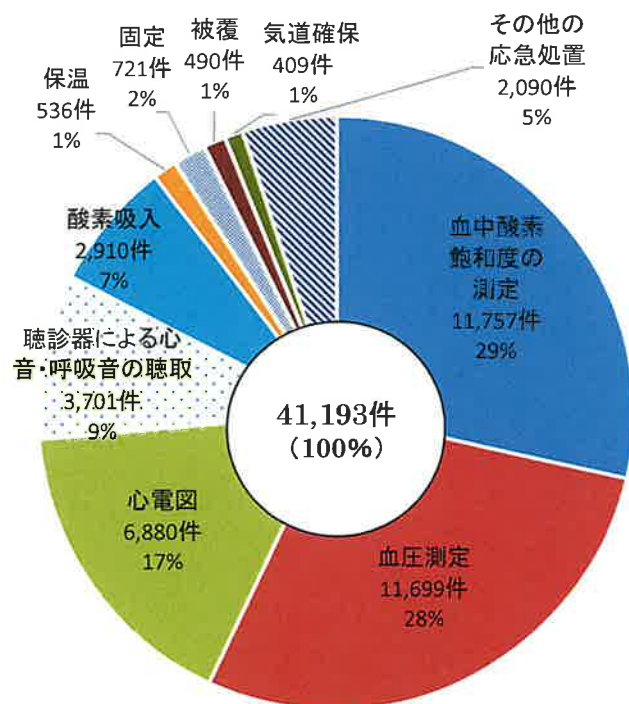
救急搬送人員12,028人のうち、死亡、重症、中等症の傷病者は6,947人で、その割合は全体の57.8%となり、入院加療を必要としない軽症の傷病者は、5,079人(42.2%)となっている。

救急隊員が行った傷病者への応急処置件数は、41,193件である。その内容は、血中酸素飽和度の測定が11,757件(29%)と最も多く、次いで血圧測定11,699件(28%)、心電図6,880件(17%)、聴診器による心音・呼吸音の聴取3,701件(9%)、酸素吸入2,910件(7%)の順となっている。

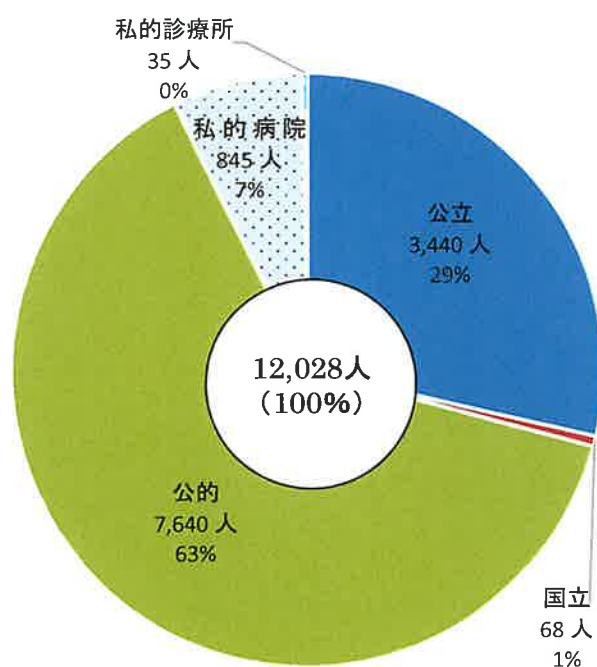
なお、搬送人員の98.2%が佐久圏域内の医療機関に収容されている。



救急隊員の応急処置実施状況



医療機関別搬送人員状況



ドクターヘリ・ドクターカー出動状況

(令和5年中)

区 分	総 数	事 故 種 別										
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
ド ク タ ー ヘ リ	出動件数	84			9	7		17			47	4
	搬送人員	69			9	6		13			38	3
ド ク タ ー カ ー	出動件数	22			7	4		1			10	
	搬送人員	18			6	3		1			8	

※その他には転院搬送も含まれております。

※ドクターヘリの搬送人員は、ドクターヘリにて医療機関へ搬送したものを計上。

応急手当普及啓発活動の状況

応急手当の普及啓発活動推進に関する実施要綱の制定及び救急業務実施基準の一部改正（平成5年3月30日付け自治省消防庁通知）に基づき、応急手当指導員資格取得講習は隔年、応急手当普及員資格取得講習は順次実施していく。

地域住民等を対象にした上級救命講習会及び普通救命講習会を実施し、修了証を交付した。

(令和5年中)

区 分（講習時間）	回 数	認 定 証 交 付 数	修 了 証 交 付 数
応急手当指導員資格取得講習（8時間）	1 回	11 名	—
応急手当普及員資格取得講習（24時間）	1 回	8 名	—
上 級 救 命 講 習（8時間）	3 回	—	53 名
普 通 救 命 講 習Ⅰ（3時間）	158 回	—	2,104 名
普 通 救 命 講 習Ⅱ（4時間）	回	—	0 名
普 通 救 命 講 習Ⅲ※（3時間）	9 回	—	97 名
累 計	172 回	19 名	2,254 名

※普通救命Ⅲとは、平成24年に新設した講習で、主に小児、乳児等を対象とした応急手当を学ぶもの



災害案内ダイヤル

0267-64-8638

災害(救急事案除く)が発生した場合に、
出動内容を音声で聞くことができます。



通信編

消 防 無 線 配 置 状 況

(令和6年4月1日現在)

署 名 区 分		総 数	消 防 本 部	小 諸 消 防 署	佐 久 消 防 署	軽井沢消防署	北部消防署	川 西 消 防 署	南部消防署	御代田消防署	
無 線 局 数	総 数	163	28	20	18	21	21	18	22	15	
	固定局・基地局		18	18							
	移動局	可搬型	1	1							
		卓上型	8		1	1	1	1	1	2	1
		車載型	64	4	9	10	9	8	8	10	6
		携帯型	72	5	10	7	11	12	9	10	8

(上信越自動車道 無線基地局を含む)

(川上分遣所は南部消防署に含む)

119 番 受 信 状 況

(令和5年中)

区 分 \ 種 別		総 受 信 件 数	災 害 通 報					災 害 小 計	災 害 以 外 の 通 報						災 害 以 外 小 計
			火 災	救 急	救 助	警 戒	そ の 他		通 報 訓 練	試 験	悪 戯	問 合 せ	誤 報	そ の 他	
1 1 9 番	固定電話	4,851	25	2,755	12	16	7	2,815	539	977	21	191	305	3	2,036
	I P 電話	4,700	36	3,973	14	17	1	4,041	343	40	2	173	99	2	659
	携帯電話	9,247	181	6,083	96	92	8	6,460	175	41	85	737	1,553	196	2,787
一般加入		373	4	188	14	104	61	371				1	1		2
駆 込 み		107		72		0		72	0	19		12	4		35
その他 (内NET119)		112 (9)	3	53	2	39	6	103	6 (6)	2 (2)			1 (1)		9 (9)
種別小計		19,390	249	13,124	138	268	83	13,862	1,063	1,079	108	1,114	1,963	201	5,528
1 日 平 均		53.0	0.7	35.9	0.4	0.7	0.2	37.9	2.9	2.9	0.3	3.0	5.4	0.5	15.1

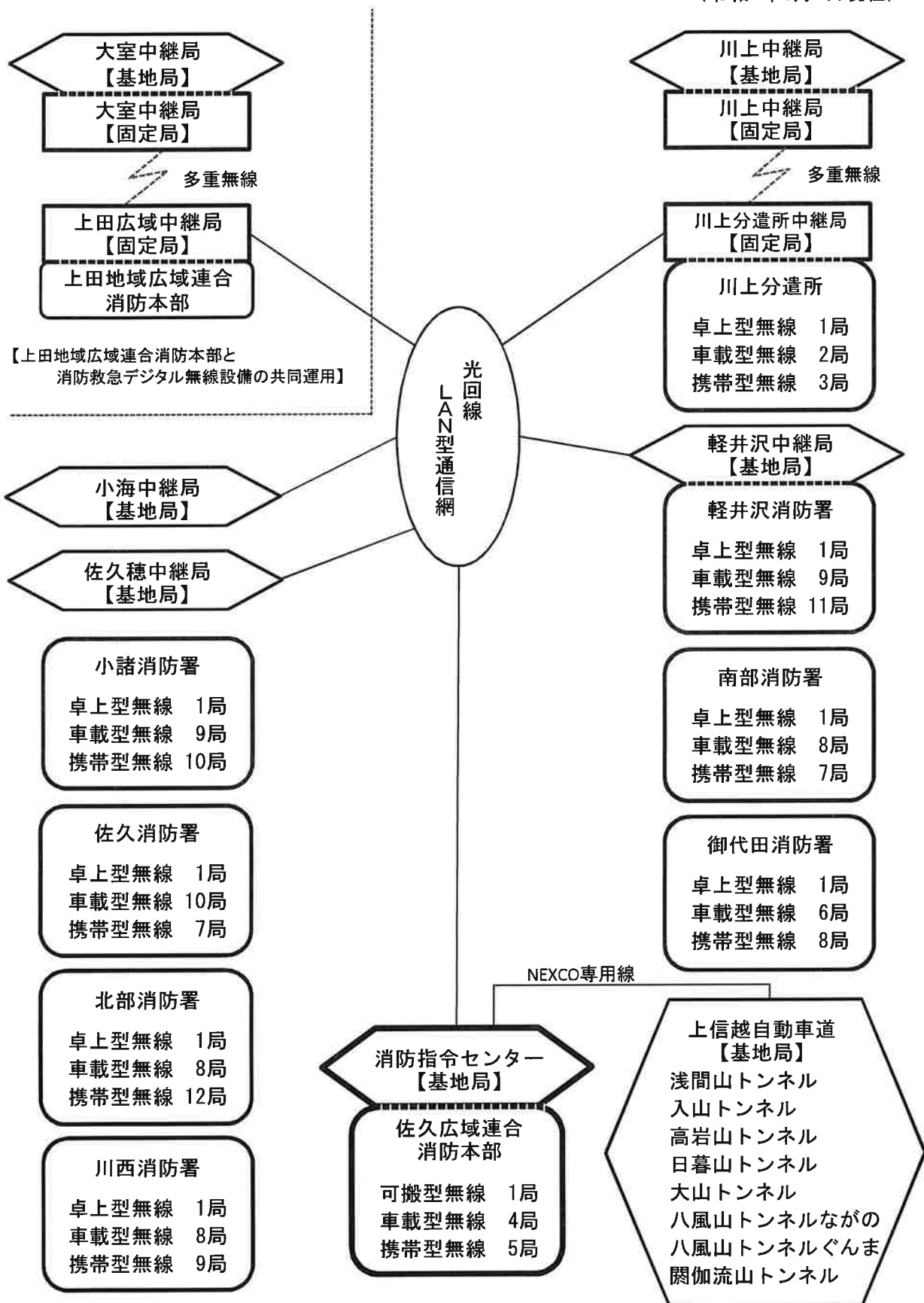
災 害 案 内 ダ イ ヤ ル 受 信 状 況

(令和5年中)

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
利用回数	1,911	1,444	2,802	2,944	2,470	1,659	1,345	1,574	1,451	2,137	2,156	2,277	24,170

消 防 無 線 系 統 図

(令和6年4月1日現在)



《 軽井沢町消防出初式 》



《 北佐久消防協会水防訓練 》



消 防 団

消 防 団 の 組 織

(令和6年4月1日現在)

組		織						
市 町 村 名		令 和 6 年 度 消 防 団 長	団	分 団	定 員	実 数		
						総 数	男 性	女 性
小 諸 市		橋 詰 孝 行	1	8	700	663	644	19
佐 久 市		沖 田 修 一	1	23	1,600	1,463	1,436	27
南 佐 久 郡	佐久穂町	篠 原 充 彰	1	7	370	328	320	8
	小 海 町	新 津 昌 一	1	5	145	139	135	4
	川 上 村	由 井 宏	1	8	240	265	265	
	南 牧 村	有 坂 泰 志	1	6	151	154	154	
	南相木村	菊 原 和 博	1	2	60	49	49	
	北相木村	井 出 完 司	1	1	70	55	55	
北 佐 久 郡	軽井沢町	柏 木 智 良	1	3	362	229	222	7
	御代田町	上 原 亮 一	1	13	300	219	213	6
	立 科 町	田 中 辰 也	1	16	340	308	304	4
合 計			11	92	4,338	3,872	3,797	75

北 佐 久 消 防 協 会 長	上 原 亮 一	御 代 田 町 消 防 団 長
南 佐 久 消 防 協 会 長	由 井 宏	川 上 村 消 防 団 長

消 防 協 会 の 主 な 活 動 記 録

(令和5年度)

北 佐 久 消 防 協 会		南 佐 久 消 防 協 会	
月 日	事 業 内 容	月 日	事 業 内 容
5月12日	第1回代議員会・総会 ・ベルウィンこもろ	4月14日	第1回代議員会・会計監査 ・佐久穂町役場
6月7日	消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会審査員会議 ・佐久合同庁舎	4月22日	ラッパ吹奏講習会 ・長野県消防学校
6月25日	消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会 ・佐久合同庁舎	5月14日	総合訓練 ・佐久穂町茂来館
7月14日	第2回代議員会 ・ベルウィンこもろ	5月19日	消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会審査員会議 ・佐久合同庁舎
7月23日	長野県消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会 ・長野県消防学校	6月4日	消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会 ・佐久合同庁舎
8月26日	水防訓練 ・佐久市千曲川スポーツ交流広場	6月10日	副団長講習会 ・長野県消防学校
10月13日	第3回代議員会 ・ベルウィンこもろ	7月7日	第2回代議員会 ・小海町役場
11月27・28日	先進地視察研修 ・茨城県 防災科学技術研究所つくば本所 ・栃木県 栃木県防災館	7月23日	長野県消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会 ・長野県消防学校
12月14日	第4回代議員会 ・ベルウィンこもろ	10月18日	消防団長・事務担当者研修会 ・松本市
1月	消防出初式 ・各市町	11月17日	第3回代議員会 ・小海町役場
2月18日	女性消防団員研修会 ・佐久消防署	11月18・19日	幹部研修 ・東京消防庁本所防災館 他
	副団長会議 ・佐久消防署	12月14・15日	消防団員指導員研修 ・長野県消防学校（当番：川上村）
3月15日	第5回代議員会 ・佐久合同庁舎	1月	消防出初式 ・各町村
		2月16日	第4回代議員会 ・小海町役場
		2月18日	女性消防団員研修会 ・佐久消防署

《 佐久広域防火管理者協会 》



《防火管理者向上講習会》

《 佐久危険物安全協会 》



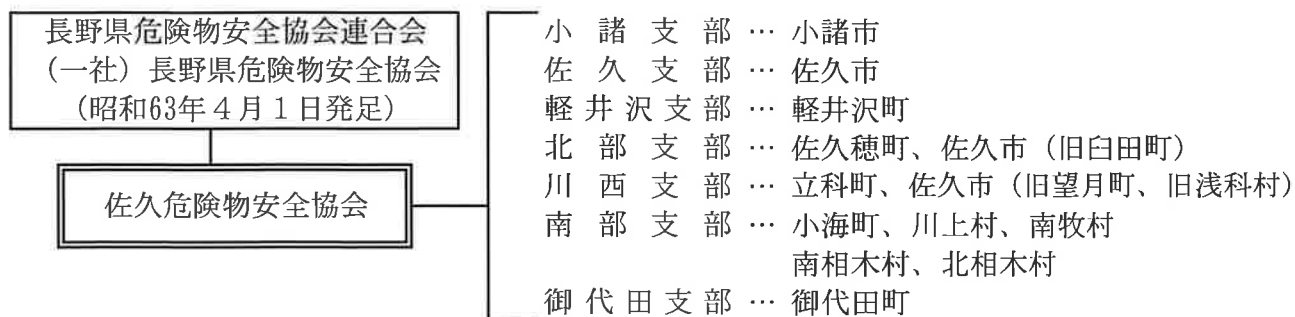
《役員視察研修》

協力団体

佐久危険物安全協会

- 1 設 立 昭和35年3月8日 南佐久危険物安全協会設立
昭和45年7月17日 北佐久危険物安全協会設立
平成元年5月24日 佐久地方事務所から事務移管により、南佐久危険物安全協会・北佐久危険物安全協会を統合して佐久危険物安全協会を設立し、現在に至る。
- 2 目 的 本会は危険物の取扱い・管理の向上を図り、危険物に基づく災害防止に努め、もって社会公共の福祉増進に寄与するとともに、事業の健全なる振興発展と各支部相互の連絡協調を図ることを目的としています。
- 3 主 な 事 業 (1) 危険物の取扱いと管理等研究に關すること。
(2) 危険物関係法令の周知徹底に關すること。
(3) 危険物に係る災害防止のための防災思想及び防火思想の普及啓蒙に關すること。
(4) 施設管理者及び危険物取扱者の育成指導に關すること。
(5) 危険物についての講習会、講演会、研究会等の開催に關すること。
(6) 関係団体相互の援助協力及び連絡に關すること。
(7) 表彰に關すること。

4 組織構成



※ 事務局：佐久広域連合消防本部内 予防課 危険物係

5 令和6年度役員

会 長	中 澤 信 一	小 諸 支 部	(一社)長野県危険物安全協会会長
副 会 長	鈴 木 篤	軽井沢支 部	
〃	児 玉 一 成	川 西 支 部	

6 会 員

(令和6年4月1日現在)

支 部 名	会 員 数	内賛助会員	
小 諸 支 部	78	8	※ 正会員 危険物製造所等の管理者 ※ 賛助会員 本会の目的に賛同する個人又は法人
佐 久 支 部	109	13	
軽 井 沢 支 部	29	5	
北 部 支 部	47	4	
川 西 支 部	54	3	
南 部 支 部	39		
御 代 田 支 部	24		
合 計	380	33	

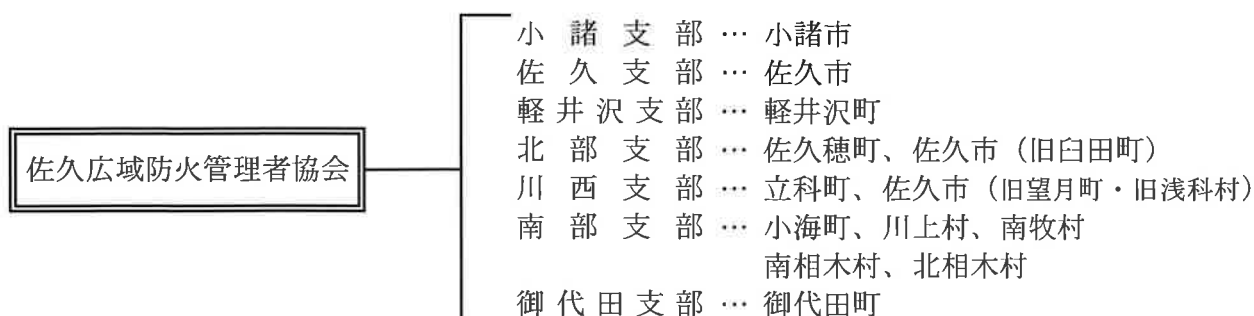
佐久広域防火管理者協会

1 設 立 昭和49年3月27日

2 目 的 本会は火災予防運動と火災による被害を軽減するため、防火管理に関する研究を行い、消防設備等の促進及び設備の維持、管理、技術の向上並びに防火意識の高揚を図り、社会公共の増進に寄与することを目的としています。

3 主 な 事 業 (1) 防火管理上の総合的研究及び消防用設備等の改善充実に関すること。
(2) 関係法令の普及・徹底に関すること。
(3) 防火管理の知識のかん養のための講習・講演・研修に関すること。
(4) 災害防止と防火思想の普及・宣伝に関すること。
(5) その他本会の目的達成に必要と認めること。

4 組 織 構 成



※ 事務局：佐久広域連合消防本部内 予防課 予防係

5 令和6年度役員

会 長	佐 藤 正 雄	小 諸 支 部
副 会 長	高 熊 英 一	佐 久 支 部
〃	井 出 浩 之	南 部 支 部
〃	塚 田 靖	御 代 田 支 部

6 会 員

(令和6年4月1日現在)

支 部 名	会 員 数	分 類	分 類 内 容
小 諸 支 部	102	1 工場等	工場、作業場、自動車車庫、倉庫
佐 久 支 部	250	2 学校等	小・中学校、各種学校、幼稚園、他
軽 井 沢 支 部	128	3 事務所等	官公署、事務所、銀行、図書館、博物館
北 部 支 部	88	4 病院、飲食店等	病院、映画館、遊技場、飲食店、百貨店、老人福祉施設、他
川 西 支 部	84		
南 部 支 部	85		
御 代 田 支 部	51	5 宿泊施設等	旅館、ホテル、宿泊所、共同住宅
合 計	788	6 集会場等	神社、寺院、教会、公会堂、集会場

佐久広域幼少年クラブ

(令和6年4月1日現在)

管 轄 消 防 署	区 分	クラブ数	クラブ員数 (人)
小 諸 消 防 署	幼年消防クラブ	4	129
佐 久 消 防 署	幼年消防クラブ	18	2,976
北 部 消 防 署	少年消防クラブ	2	11
川 西 消 防 署 (事務局 立科町)	幼年消防クラブ	1	42
ク ラ ブ 別 合 計	幼年消防クラブ	23	3,147
	少年消防クラブ	2	11
総 合 計		25	3,158



編集・発行 佐久広域連合消防本部

〒385-0051 長野県佐久市中込2947番地

TEL 0267-64-0119

FAX 0267-62-7745

E-mail: firehonbu@areasaku.or.jp

ホームページ <http://www.areasaku.or.jp>